日本国際協力財団 助成事業

住民が主役になる対話の法則

国際協力フィールドワーカーのための問題集

特定非営利活動法人ムラのミライ

「メタファシリテーション」は特定非営利活動法人ムラのミライの登録商標です（登録商標第６５９１４１２号）。本文中では®マーク等は付記していません。

もくじ

はじめに ・・・03
この本の特徴・登場人物 ・・・04
プロローグ：「対等な関係」とは何か ・・・06
Column 1 「あなた（受益者）のために」という支援の実態 ・・・12

01 自分にも相手にも潜む「思い込み」を意識する
事例「植林プロジェクトのモニタリングのためのヒアリング」 ・・・13
Column 2 お膳立てされた事業 ・・・19

02 「持続可能性」を阻む質問とは
この質問は事実質問か？ ○×問題にトライ ・・・21
Column 3 何（What）ですか？と聞いても事実を聞けない時 ・・・33

03 現状認識・課題分析で誤らないために

事例「設立した委員会から村人が離脱」 …… 35

「とっさの一言」を鍛える問題 …… 40

Column 4 支援した事業が役立ったかどうかを聞きたい時は …… 49

04 「住民による自主的な活動」を実現するには

肝となるワードをさっと出すための穴埋め問題 …… 51

Column 5 新人駐在員が感じた事実質問の威力 …… 56

05 基本の復習

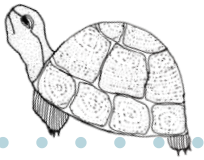
事実質問の基本型 …… 58

講義資料スライド抜粋 …… 60

Column 6 住民「参加」の中身 …… 74

おわりに …… 75

解答一覧 …… 78



はじめに

この問題集は、国際協力*に携わる人たちが支援現場で直面する様々な場面で、メタファシリテーションを使えるようになることを目的に作成しました。

すでにメタファシリテーションについて他の書物を読んだり、特定非営利活動法人ムラのミライが開催する関連講座や研修に参加したりするなどして、メタファシリテーションの考え方や基本を知っていることを前提にしています。
基本的技術に関しても掲載していますので、学び直しにもご利用いただけます。

この本を読んでくださるあなたが活動を進める中で「どうしてうまくいかないのか」と感じた時、そのモヤモヤの正体を突き止め、払拭し、住民（受益者）と対等な関係を築きながら、住民が主役になる活動を実現できることを願っています。

特定非営利活動法人ムラのミライ　海外事業部

*戦争・紛争や災害・疫病等における緊急支援ではなく、息の長い地域住民との信頼関係をベースにした活動での場面を想定しています。

メタファシリテーションの定義

ファシリテートする側が当事者に対して事実のみを質問していくことによって、当事者が思い込みに囚われることなく自分の状態を正確に捉え、そのことによって自分の経験知から課題解決につながる示唆を主体的に得る過程を創り出す手法である。

また、この手法はファシリテートする側が事実のみを訊くことによって自分が現在何を訊いているのか正確に認知すること、すなわちファシリテートする側のメタ認知（meta cognition）を促し、ファシリテーションの過程そのものの客観性とファシリテートする側と当事者とのコミュニケーションの効果を最大限に担保する。

こちらも参照ください：
https://muranomirai.org/meta-facilitation/

この本の特徴・登場人物

５つのパート

この問題集は５つのパートに分かれており、Part１からPart４までは、「問題→解説付きの解答」の順番で続きます。問題は短文のものもあれば、長文（事例紹介）になっているものもあります。

Part５は、メタファシリテーション講座のステップ１からステップ３で使うスライド資料から抜粋・掲載しています。

各事例や問いに対する解説と併せて確認すると、より理解が深まるでしょう。巻末には解答一覧がついていますので、答え合わせにご利用ください。

登場人物

ある架空の国際協力ＮＧＯの事業を舞台に、職員と村人とのやりとりや、日本の本部事務所と現地事務所のやりとりを題材として進めます。

この国際ＮＧＯの概要

途上国の都市スラムでの生活環境改善と農村での収入向上事業に取り組む日本に本部を持つＮＧＯ。設立20年を超える。

本部職員（日本）

林さん
海外事業部部長

池田さん
海外事業部主任

連携

現地（Ａ国）事務所職員

ブクさん
現地プロジェクト・マネージャー

トゥリさん
現地プロジェクト・コーディネーター

解説担当

登場人物のやりとりをもとに、ムラのミライの新人職員**みらいさん**と、「認定メタファシリテーショントレーナー」（以下、「トレーナー」と略します）歴15年の**村野さん**の会話で理解を深めます。

みらいさん

新人職員。海外協力隊の経験あり。

村野さん

認定メタファシリテーショントレーナー歴15年。企業や他のＮＧＯでの勤務経験もあり。

みらいさんの無意識のバイアスや、村野さんのフィードバックに対するみらいさんの素朴な疑問は、実際のトレーナーのコーチングの場面でもよく出てきますので、読者のみなさんの実践時に押さえておくべきポイントと言えるでしょう。

コラム

問題と解答の他にも、メタファシリテーションの考え方や基本技術を紹介する実践事例もコラムで掲載しています。

※この問題集に登場するストーリーは、すべて架空のものです。複数の事実をもとにこの問題集のために創作されたものであって、特定の国・地域および団体や事業について述べているものではありません。

それでは、使い方のご紹介となる最初のストーリーをご覧ください。

プロローグ：「対等な関係」とは何か

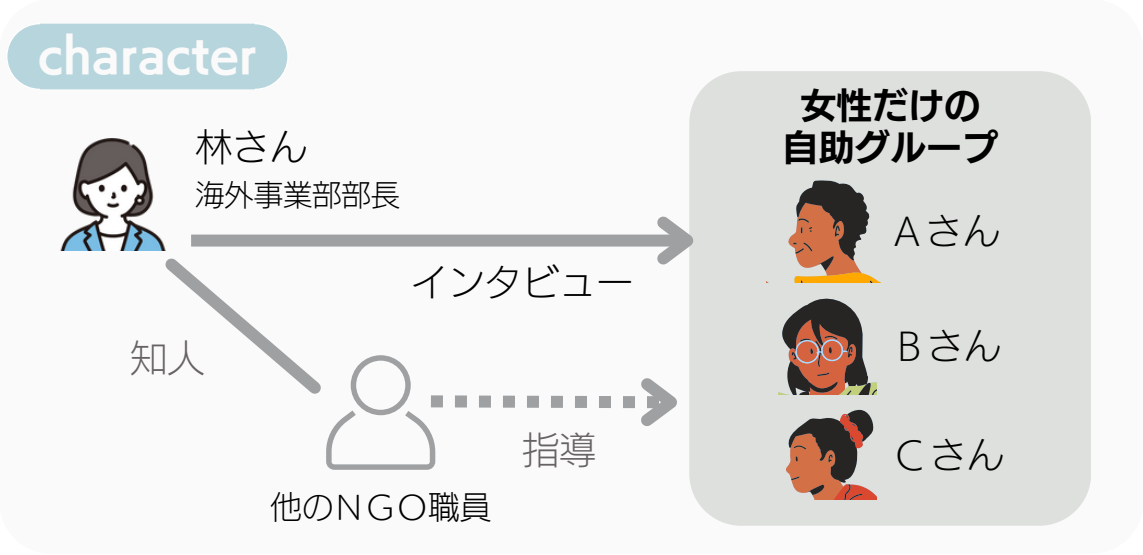
ここでは、メタファシリテーションを実践する上で重要な、相手（受益者）との関係性について見てみましょう。

scene

自助グループへの初インタビュー

ＮＧＯで行っている生活改善事業として、女性たちの自助グループ（メンバーが集まって定期的に少額の預金を行い、その中からメンバーに貸付を行う仕組み）を導入してはどうかと現地事務所職員のブクさんから提案を受けた。

そこで隣の県で活動している知人のＮＧＯを通じて、自助グループメンバーの女性３人（Ａさん、Ｂさん、Ｃさん）に話を聞かせてもらうことになった。



林さん

今日はおじゃまさせていただき、ありがとうございます。
私たちの地域でも女性たちで自助グループを作るために、
みなさんの活動を参考にさせていただこうと思って来ました。

来てくれて嬉しいです。

Bさん

早速ですが、みなさんのグループには何人メンバーがいるのですか？

12人です。このエリアには、私たちの他にも
5つほどグループがありますよ。

Cさん

そうなんですね。
みなさんは普段、何のお仕事をしているのですか？

私は野菜の行商です。
毎朝市場に行って仕入れ、
朝と夕方に市内を歩いて野菜を売ります。

Aさん

私はメイドとして、3軒の家で働いています。
基本的に、お祭りの日以外は毎日働いています。

Bさん

私はアイロン屋をやっています。日曜日以外は毎日、
お得意さんから服やシーツを預かってアイロンをかけています。

Cさん

みなさん体力を使いますね。
収入は毎月だいたいいくらくらいありますか？

・・・月に3000円くらいかしら。

Aさん

そんなものよね。

Cさん

お連れ合いの方の収入はいかがですか？

似たり寄ったりよ（笑）

生活は大変ですか？

そりゃそうよ。
だから、毎日、私たちもがんばって働いているのよ（笑）

Bさん

このグループからお金を借りられなかったら、
もっと大変だったわねぇ。

Aさん

やっぱりこうした自助グループは役に立ちますか？

はい！

Aさん

Bさん

Cさん

解説

みらいさん

3人の女性からいろいろ話が聞けてよい視察だったみたいですね。

・・・お、どのあたりのやりとりでそう感じたのかな？

村野さん

だって女性たちは“生活が大変”、“このグループがあって助かった”と
言ってましたよ？

セリフだけ見たらそうだね。でも林さんが視察に行った時、
このグループの支援をしているＮＧＯスタッフも一緒だったよね。
その人が連れてきた初めて会う外国人に、「役立っています」
「助かっています」以外のことは、なかなか言いづらいんじゃないかな。

それはそうでしょうけど・・・

みらいさん、これまでに初対面の人に「あなたの毎月のお給料、
いくらもらってる？」って聞いたことはある？　聞かれたことでもいいけど。

そんなこと、初対面では聞けないですよ。誰かに聞かれたこともありません。
もし聞かれても、適当にごまかして答えます。・・・あ。てことは・・・

３つめの質問でもう“毎月の収入はいくら？”って聞いているね。

でもＮＧＯ職員として、現地の人の生活の実態を知るためには、
必要な質問ではないですか？

じゃあ、みらいさんに聞いていい？
「あなたの生活は大変ですか？　収入はどう？」

えー・・・大変といえば大変ですけど、問題ないといえば問題ないかな・・・
収入はちょっと・・・

そうだよね。なんとも言えないよね。ましてや毎月の収入も、
「なんであなたに教えないといけないの？」って感じるよね。
それは、初対面の相手が日本人でも、ＮＧＯの支援を受けている国の人でも
同じじゃない？　それなのに、「国際協力」とか「支援」の場面になると、
その感覚が無視されてしまう。

あ～・・・外国人（援助する人）が現地の住民（援助される人）に
「収入はいくらですか？」と聞くのは不躾だし、「生活について」も、
自分でもすぐに答えられないあいまいなことなのに、やっちゃいがちですね・・・

意味がある質問をしているつもりになりがちだけど、これで知りたいこと、
明らかにすべきことにはたどりつけない。

うーん、じゃあ、どうしたらいいのかな・・・

まずは、思い込みを捨てること。というより、自分では
気づいていない思い込みがある、ということを意識すること。

「気づいていない思い込み」を意識する・・・？

そう。「自分は支援する側に属しているから、
彼ら・彼女ら（支援先の住民たち）の問題を解決しなければならない」
という熱い想いは、支援先の住民たちから見たら「上から目線」でしかない。

「途上国の援助先（活動現場）は貧しいに違いない」と
思い込んでいるということですね。

「どれくらい貧しいのか収入を知らなければいけない」
「貧困削減＝収入向上。だから現在の収入を知らなければ・・・」
等の、できあがったイメージによるもの。

活動現場に行って「何か問題はありますか？」と聞くのは・・・？

それも、「問題があるはず」「彼らの知識や技術は乏しいに違いない」
という思い込みからの質問。
「子どもにはわからないだろうから、聞かないでおこう」
「彼は読み書きできないから、この役割は果たせないだろう」
「女性は地元有力者がいる前では発言できないから、委員会には入れない方がいいだろう」
などといった、自分の無意識のパターナリズム＊やバイアス、
思い込みに気づかなければ、メタファシリテーションの通底となる
相手との「対等な関係」は築けないよ。

でも、良かれと思ってやってしまっていることもあるだろうし、
今まで、例えば先輩スタッフとか他の国際協力のケースでも
そうしていたりするので、自分で気づくことは難しいと思うんですが・・・。

そう。だからこそ、この問題集に取り組んでみよう。
どういうシチュエーションで間違ってしまっているのか、
ＮＧな質問をしてしまっているのかが見えてきたら、
それが自分の無意識で持ってしまっているパターナリズムだろうね。

＊パターナリズム（英:paternalism）・・・強い立場にある者が、弱い立場にある者の
利益を名目に、本人の意思確認なく強制的に介入・干渉・支援すること。

ふむふむ・・・住民たち自身がイチから考えて決めないといけないことを、
支援者側が提案したり主導したりしていないか、などと振り返るとか・・・？

そうだね。ほかにも、活動予算などの情報を
「知らなくてもいいだろう」と支援者側が勝手に決めて、
住民たちに共有していない状況になっていないか、とかね。

「支援する側」「支援される側」という関係性を
作ってしまっていないか、意識することが大切なんですね。

そう。この問題集は、思い込みを解き放つ訓練にも役立つと思うよ。

はい！

Column 1

「あなた（受益者）のために」という支援の実態

前川 香子
ムラのミライ　海外事業チーフ

私は大学院に在学中、修士論文の調査のために、ある国のスラムに３か月ほど滞在していたことがありました。そこは児童労働問題に取り組む現地ＮＧＯで、活動の一環でマイクロクレジット活動をしていました。スラムの女性（母親）たちに自助グループを作ってもらい、グループ内で毎月一定額をプールしていき順番でお金を借りるシステムです。

そのＮＧＯスタッフの一人が、ある日とても疲弊していたので話を聞いてみると、日中の活動（子どもたちへの教育支援）を終えてからスラムに行き、一軒一軒回って女性たちから集金し、21時過ぎに帰宅してから夕ご飯を作り、家事をして・・・というのが数日間続いているとのこと。
なぜそこまでするのかと聞くと、彼女は疲労をにじませながらも次のように言いました。
「だって、彼女たちは我が子が働かなくてもいいように、毎日一日中働いてがんばっている。自助グループがないと高利貸しで借りるしかない。だから時間がない彼女たちに代わって、私が集金してあげるの。これもＮＧＯスタッフとして立派な仕事」。
将来はＮＧＯで働こうと思っていた私は、彼女の言葉を聞いて「ＮＧＯスタッフはそこまでしないと『貧しい人たち』に貢献できないのか」と思い、尻込みしてしまいました。

それから数年後、ムラのミライに入職しました。そして、駐在員として派遣されたインドで担当することになったのが、前述の調査の時と同じマイクロクレジット活動だったのです。ふと、疲労困憊していたＮＧＯワーカーのことを思い出し、戦々恐々としながら渡印しました。しかし、そこで目にしたのは真逆の対応だったのです。
「彼女たちのグループなのだから彼女たちで集金すべし」「ＮＧＯスタッフは手も口も出すな」「事業からグループが離脱しても構わない」「ＮＧＯスタッフが説得・勧誘するな」。

着任直後に、私がそれまでなんとなく持っていた援助についての思い込み（イメージ）は、音を立てて崩れていきました。ムラのミライとの縁がなければ、大学院の時にスラムで知った「援助」の思い込み、すなわち「貧しい受益者のかわりに支援者が動く」というイメージを長年抱き続けていたことでしょう。

ムラのミライがしていたのは、グループ活動を手伝うのではなく、そもそもグループは何のために必要なのか、そのためには誰が何をしなければならないのか、活動を続けていく上で（グループメンバーが）何の知識を得なければならないのか、というようなことを問い続け、彼女たち自身が考えて行動するのを手助けすることでした。

ムラのミライのマイクロクレジット事業の詳細は
『南国港町おばちゃん信金: 「支援」って何?"おまけ組"共生コミュニティの創り方～』
および『途上国の人々との話し方―国際協力メタファシリテーションの手法』
にも掲載されています。よかったらご覧ください。

01 自分にも相手にも潜む「思い込み」を意識する

これから問題集の始まりです。Part 1 では、思い込みに基づくやりとり（空中戦）と事実に基づくやりとり（地上戦）*の違いを理解するのが目標です。

*空中戦・地上戦：メタファシリテーションでは、噛み合わない議論や抽象的で観念的、実りのない議論を「空中戦」、いつ・誰が・何をするかを明確にしながら事実に基づいて進められる地に足の着いたやりとりを「地上戦」と呼んでいます。（参照：「巻末の講義スライド抜粋」）
戦争用語を多用するのは避けたいですが、メタファシリテーションにおいて重要な考え方をわかりやすく、かつ覚えやすく示すことができるため、こうした言葉を使用しています。

scene

植林プロジェクトのモニタリングのためのヒアリング

植林プロジェクトのモニタリングのために、村にやってきた林さんと現地事務所の職員トゥリさん。村の集会場で村人のDさんとEさんに話を聞いています。

character

林さん
海外事業部部長

トゥリさん
現地のプロジェクト・コーディネーター

インタビュー

村人

Dさん

Eさん

ストーリーを読んで、次の2問に取り組んでみましょう。

1．林さんやトゥリさんの、「事実を聞いていない質問」に下線を引いてください。
2．村人の「思い込み（考え）に基づいた回答」に波線を引いてください。

林さん

先月植えた苗木は、順調に育っていますか？

ああ。期待したほど雨が降らなかったけど、苗木を植えた際に稲わらでカバーしたのが良かったのか、さほど枯れていないね。

Dさん

それは良かったですね。（植林計画表を見ながら）現在育っている苗木ですが、どういう種類のものを植えているのでしたっけ？

去年も今年も、フルーツのなる木、木材や薪になる木だね。

Eさん

それらが育ったら、どうする計画ですか？

えーと、販売だね。
売れ残ったら、自分たちで使うつもりだよ。

Dさん

トゥリさん

売る先は決まっていますか？

そうだね、販売すれば買い手はいくらでもいるよ。
フルーツはみんなよく食べるし薪は特に必要だし。

Eさん

フルーツは、そのまま売るんですか？

そうだね。マンゴーなんかは、隣町なら高値で売れるかと。

Dさん

今年はマンゴーをどこで売りましたか？

この近くの市場だよ。市場の中で売るには区画申請をして、
登録料を払わないといけないしで面倒だから、
市場の外でゴザを敷いて売ったんだ。

Eさん

この辺みんな、そんなもんだよ。
あとは仲買人に買い取ってもらうかだな。
ある程度の量がないと買い取ってもらえないけど。

Dさん

なるほど、いろいろと面倒なんですね。
では、それ以外での販売方法はどうでしょう？
例えば、ジャムやピクルス、ドライフルーツに加工したり。

なるほど、そりゃあ日持ちもするしよさそうだね。
でも、どうすればいいんだろう？　場所とか道具とか・・・

Eさん

加工のための設備支援や研修があれば、参加しますか？

そりゃぁもちろん。娘とかができるようになったらいいよな。
俺もマンゴーピクルスは好きでよく食べるし、きっと売れるだろうしな。
収入が増えたら、この家も建て替えたいよ。
土壁よりやっぱりセメントを使ったしっかりした家にしたい。

Dさん

自分は養鶏を始めたいなぁ。隣の村で養鶏をしている人がいて、
卵や鶏肉を売って儲けて、子どもを町の高校に行かせていると聞いたんだ。
私も子どもたちにはいい教育を受けさせて、
いい生活を送れるようにしてやりたい。

Eさん

いいですね！　夢が具体的になってきましたね。
また本部事務所とも相談して、何か決まったらお知らせしますね。

解説

「事実を聞いていない質問」と「村人の『思い込み（考え）』に基づいた回答」はどこかわかりましたか？

村野さん

みらいさん

そんなに「思い込み」ってないような気がしますけど・・・村人の発言部分で言うなら、“ジャムやピクルスにしたらよく売れるだろうし、その収入でいい生活が送れるようになるだろう”という個所でしょうか。
売れるかもしれないけど、どうなるかわからないですし。

そうだね。ほかにはあるかな？

う〜んと、「隣町に行ったら高値で売れるかと」という発言もそうですね。

ほかにもあるよね。
根拠に基づいた発言かどうか、
特定のものごとを指して具体的に言っているのかどうか、
そういう視点で村人の発言を読み直してみよう。

・・・あぁ「さほど枯れていないね」も具体的ではないです。
“売ったり、自分たちで使ったり”も、何の木や実についてのことなのか、どれくらいの量なのかも不明ですね。
でも、そうなると、事実に基づく発言ってほとんどないことになりませんか？！

そうだね。それは村人のせいというより、村人にあいまいな答えをさせてしまった質問の方に問題がありそうだよ。
最初から見てみようか。
「先月植えた苗木は、順調に育っていますか？」
これは事実質問かな。

「順調に」というのがあいまいな言葉だから、これは事実質問ではないですね。

そうそう。そんな感じですべての質問を見てみよう。

“今後、どうする計画になっていますか”も“売る先は？”も、何の木や実について言っているのかもわからないし、未来のことを聞いているから事実質問ではないですね。「フルーツは、そのまま売るんですか？」も・・・

うん、「フルーツ」と一般化してしまっているね。

「今年はマンゴーをどこで売りましたか？」は、これは事実質問ですね。
その後の質問「どうでしょう？」「参加しますか？」は提案だからダメです。
ということは、事実質問は１回だけですね・・・

そうだね。「事実に基づく村人の発言がほとんどない」って言ってたけど、
その原因は「事実を尋ねる質問をしていない」から。
ＮＧＯ側が“苗木は順調に育っていますか？”と聞いたら、
村人は「さほど枯れていません」と答えてしまう。

「事業をしてもらっているからネガティブなことは言ってはダメだけど、
100％枯れているわけでもないから波風立てずに答えよう」と
考えてしまいますもんね。

そう。事実で聞くなら、期間を指定した上で、発芽率や葉っぱの枚数、
茎の高さといった指標をもとに、数字で聞く必要がある。

確かに・・・
ということは、林さんが木の種類ごとの発芽率や生存率、チェックすべき
ポイントなどを、村人に伝えてあげておくべきだったってことでしょうか？

みらいさんのその考えが典型的な支援者の“上から目線”だよ。
村人が自分で調べることはできないのかな？　村人が専門家に聞けないのかな？

えーと・・・
専門家に聞くのも、それをもとに指標を作るのも、村人たちってことですか？

そう。「専門家に聞きたいから連れてきてほしい」と言われて初めて、
「専門家に来てもらおうか」と村人に伝える。
その専門家に来てもらって何を聞くのか、
それもまずは村人に考えてもらって、
村人から専門家に直接聞いてもらうようにする。

えぇ～。村人たちが専門家に聞きたいと思わなかったらどうするんですか？
それに事業だと予算立てもあるし、
専門家との調整も事前にしなくてはいけませんし・・・

そうだね。だから、「この場面では専門家が必要だ」という計画は
立てておかないといけないし、事業スケジュールの見通しは必要だけど、
ＮＧＯの方から「専門家を連れて来るから何でも聞いてください」ではダメ。
村人たちだけではわからないことが出てきて「誰かに聞きたい」と村人が
言った時、「じゃあその場を設けよう」とするのが大切。これも、
メタファシリテーションの中でも重要な要素だね。みらいさん、覚えてる？

えーと、「自分で発見したことは使う」ですね？

そう。その「発見するプロセス」を創出するのがメタファシリテーションだよ。

なるほど・・・でも、指標に限らず、そもそも村人にとって
本当に必要なこと、聞きたいことじゃなければ
「〇〇さんを連れてきてください」とは言わないかと思うのですが。

いい着眼点！　みらいさんの言う通り、
村人自身が本当に必要なことだと理解するのが重要なんだよね。
「専門家の話を聞きたい」という一場面だけでなく、活動全体を考えよう。
例えば、「植林が必要だ」という意見が村人たちから出てきて初めて、
その後の植林についての行動計画作りから事業の実施、モニタリング、
評価までがすべて住民主体となる土台ができるんだけど、
「植林が必要」と判断するまでの道筋も、
事実に基づいた課題分析を村人自身がしないといけないよ。

ＮＧＯ側がどのようにその事業計画を作るに至ったか、というのもカギと
なりそうです。課題分析で事実質問が不十分だったら、計画に書いてある
活動が本当に必要なこととずれていることもありえますよね。

そう。植林は本当にやらねばならないことじゃなかったとか、
対象者の選出に根拠がなかったとか、後になって気づかされることも
あるかもね。でもだからと言って、事業の途中でそう簡単に活動を変更する
ことができないこともわかる。資金提供元との兼ね合いもあるしね。

事業の仕切り直しとまではいかなくても、少なくとも村人が
「言われたからやる」のではなくて、「よしやってみよう」と思えるように
働きかけなきゃいけないですね。

うん。あとは活動が終わった後に、必ず村人たち自身が振り返って、
次の取り組みに活かせるように働きかけないといけないね。
その方法は、この後の問題のいくつかでも紹介しているよ。

よーし、やってみます！

Column 2

お膳立てされた事業

前川 香子
ムラのミライ　海外事業チーフ

「指標作りは専門家やＮＧＯスタッフの仕事」という考えや「村の人は言われた通りにするか、スタッフがすべてをやってしまう」という状態は、文章にしてみると違和感に気づきやすいかもしれません。でも、実際には国際協力の現場だけでなく、それ以外の様々な場面でも発生しています。そして、当の本人たちはその状態の問題に気づいていないことも少なくありません。

例えば・・・
・地域コミュニティ作りに携わっている専門家・ＮＰＯと住民
・各種相談窓口を担当している人と当事者
・教育現場における先生と生徒
・仕事におけるＯＪＴやメンターと新人
・自治会やＰＴＡにおける役員とその他の住人・保護者
・家庭における親と子
などにおいても、同様のことが起こっているのではないでしょうか。

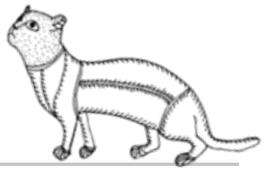
働きかけをする側が、「相手は忙しそうだから」「やったことないからわからないだろうし」と指標や役割、やることなどを決めてしまうと、相手側はよくわかっていなくても「これさえやっておけばいいみたい」「問題ないと言っておけば波風は立たない」と感じ、主体性を失っていってしまうのは当然のことです。

そのままの状況で「モニタリング」をしたとしても、「思い込みによる質問」と「思い込みによる回答」のやりとりが続くだけで、根本解決には至りません。Part 1 のケースで言うならば、ただ苗木について「順調ですか？」と聞いて「順調です」という答えを引き出すのは何も聞いていないのと同じです。村人の状況を事実ベースで把握した上で、指標作りから一緒に取り組む必要があるのです。

何事もお膳立てして進めてきたＮＧＯが事業終了と共にその地を去ってしまうと、残された村人たちは、何をすべきか、何を知らなければならないか、どうやって調べるのかもわかりません。外からの支援が終われば村での活動が終了という、持続しない事業の正体は、ＮＧＯによるこの善意のお膳立てにあると言えるのではないでしょうか。

ただ、みらいさんも言っているように事業には限られた期限があり、専門家との調整もあります。なかなか村人たちの「知りたい」という言葉を待っているだけでは難しいですよね。そんな時は「これまでに苗木の生育チェックをしたことがありますか？」「順調に育っているかどうかを、どうやって判断するか知っていますか？」「その方法を誰に聞くといいのか知っていますか？」というように、村人たちが何をしたことがあるのか、どういう知識と経験を持っているのかをあぶり出すことが有効かもしれません。村人たちが自分たちで気づくこと、そしてやってみようと思ってもらうことが肝心なのです。

Part 1 まとめ



- ☑ 「順調ですか？」では何が「順調」なのかがわかりません。では、どう聞くのがいいですか？
- ☑ 専門家を連れて来るのはどんなときですか？
- ☑ 村人が自ら「知りたい」と思うために有効な働きかけはどういうものでしょうか？

あなたの事業のチェックリスト

- ☑ 住民（いわゆる受益者）をお膳立てしている（＝お客さんにしている）活動はないでしょうか？
- ☑ もしある場合、その活動は、【調査・計画・実施・モニタリング・評価】のどのステージでしていますか？
- ☑ もしある場合、どんな働きかけが必要でしょうか。

02 「持続可能性」を阻む質問とは

この質問は事実質問か？　〇×問題にトライ

それでは次に、思い込みの発言を相手にさせないためにも、事実質問をしっかりと身につけていきましょう。Part２は、〇×クイズです。
事実質問とそうでない質問を見分ける問題です。

Q 1　短文クイズ

以下の25の質問文は、それぞれが独立した文章です（連続した会話ではありません）。各質問は「日本人のＮＧＯスタッフ」が発しています。
各質問が事実質問であれば〇、そうでなければ×を空欄に記入してください。

番号	質問	回答
1	（村人が抱えているカゴの中身を指さして）これは何ですか？	
2	（現地のスタッフに対して）事業対象の村で堆肥を作っている村人を知っていますか？	
3	（村の女性グループに対して）食料品を買っているお店はどこですか？	
4	（有機農業グループの一員に対して）直近のミーティングの議題を覚えていますか？	
5	（支援していた養鶏事業でヒヨコがイタチに食べられたという村人に対して）ヒヨコを守る対策を取っていなかった理由は何ですか？	
6	（調査で対面したスラム住民に対して）収入は十分ありますか？	
7	（村の集会で）この料理はとても美味しいですね。誰が作ったのですか？	
8	（登校してきた子どもに対して）朝ご飯ちゃんと食べてきた？	
9	（治療中の村人に対して）前回受診した時にお医者さんからもらった薬は、あとどれくらい残っていますか？	
10	（女性グループのリーダーに対して）どうしたら女性の活動への参加率が高くなりますか？	

11	（農家に対して）その種は、どこで手に入れたのですか？	
12	（支援候補先の学校の訪問時に、視察したクラス担任に対して） あなたの授業は、とても明るい声で聞きやすいですね。トレーニングを受けたことがあるのですか？	
13	（村長に対して）この集落で、あなたが最も不便に感じることは何ですか？	
14	（生産者グループメンバーに対して）グループの中で役割分担していますか？	
15	（村人に対して）最近、この集落で稲の害虫被害の調査をしたのはいつでしたか？	
16	（特産品ブースの担当者に対して）他に出店先の候補はありましたか？	
17	（スラムの一角で井戸端会議している女性たちに対して）みなさんは、いつもゴミをどう処理されていますか？	
18	（村人に対して）去年、あなたの田んぼでどれくらいのお米が収穫できましたか？	
19	（スラムの女性に対して）お子さんの通っている学校は、家から近いですか？	
20	（支援候補地の視察で、大小さまざまなカゴを作って売っている女性グループに対して）資金や設備がきちんとあれば、どんな活動がしたいですか？	
21	（着ているスーツの話を嬉しそうにしている現地事務所のスタッフに対して） そのお洋服、素敵ですね。あなたご自身で選んだのですか？	
22	（畜産農家グループの集会で） グループの活動資金は、どれだけあればいいですか？	
23	（初めて訪れた村で食事を振舞ってくれた村人に対して）あなたの村ではみなさん何を食べていますか？	
24	（子どもが腹痛に苦しんでいるという母親に対して）娘さんからお腹が痛いと最初に聞いたのはいつでしたか？	
25	（子ども支援をしている現地のＮＧＯの代表に対して）子どもの教育に意識の低い親に関心をもってもらうためには、どうしたらいいと思いますか？	

Ｑ２～Ｑ６は、会話に基づいたクイズです。下の会話が、事実質問に基づいた会話になっていれば○、なっていなければ×を記入してください。

Q 2　最初の確認

scene　村人と研修日時を調整して迎えた研修当日。集会場の入口付近で、開始時間を待っている時の会話です。

林さん

研修の開始時間の５分前ですが、今のところ何人来ていますか？

（部屋の中をのぞいてきて）５人です。

ブクさん

回答：

Q 3　ミーティングに来ない理由

scene　支援対象者の村人が最近ミーティングに出てこないので、ブクさんが様子を見に村人の家を訪問。ちょうど村人が汗だくで帰宅したところに出くわし、玄関先で会話をしました。

ブクさん

最近、ミーティングに来ないですね？　お忙しいですか？

はい。いろいろとお金が必要になったので、日雇い仕事を増やしたのです。

村人

回答：

Q 4　アプリを使わなくなった理由

scene

村人が作った商品を管理するアプリをプロジェクトで導入しました。しかし実際にはアプリが使われていないことがわかり、ブクさんが商品を販売している店に話を聞きに行った時の会話です。

ブクさん

ところであなたは、アプリの使い方を習ったことはありますか？

商品管理者

はい。先月の店舗ミーティングで教えてもらいました。

誰からでしたか？

その時の担当者だったＡさんです。

Ａさんは、今は担当者ではないのですか？

はい、先月末に辞めました。
なので、操作がわからなくなっても教えてもらうことができないのです。

回答：

Q 5　給食委員会

scene　給食委員会を作るため、トゥリさんと小学校のＰＴＡ役員や教員、母親グループのリーダーたちに集まってもらい、ミーティングをした際のやりとりです。

トゥリさん

今日は、給食のメニュー設定、材料の調達、給食費の集金と管理について振り返りをします。今、これらのことはどうなっていますか？

ＰＴＡ役員

え〜っと、メニューは先生たちが決めて、それに基づいて材料も調達してもらって、集金は、生徒が家から持ってきたのを担任に渡すんじゃなかったかな？

教師

そうですね。学校の掃除スタッフがマーケットまで買い出しに行っています。集金に関して言えば、生徒が持ってきたり持って来なかったり、持って来ても金額が違ったりで、こちらとしては業務が増えて困っています。母親グループから、各家庭にきちんと言って、正確な金額を持ってくるように指導してほしいです。

母親

はい、すみません。私たちも、毎月のグループミーティングでトゥリさんからメンバーたちに、給食費の集金がきちんとされないと給食が食べられなくなることをしょっちゅう言ってもらっているのですが・・・

（それぞれが、困っていることを出し合った）

みなさん本業や家のことが忙しくて、今の体制ではなかなかタスクをこなすのが難しいですよね。そこで、給食委員会のメンバーを募って、その人たちが中心となって給食のメニュー設定・材料の調達・給食費の集金と管理を進めるという体制を作ってみてはどうでしょうか？
隣町では１年前から始めていて、うまくいっていると聞いています。

回答：

Q 6　イベントの振り返りミーティング

scene

収入向上事業でオーガニック食品の加工をしている農民グループの村人たちが2日間のイベントに出店することになりました。ブクさんがイベント情報を紹介、林さんが出店する商品を提案、村人はブクさんと林さんに言われた通りに商品を作り、イベントで販売しました。イベントが終わった後のミーティングでのやりとりです。

林さん

私はイベント２日目の午後にしか行けませんでしたが、
１日目は何人のお客さんが来られたのですか？

４～５人くらいだったよね。

Ｆさん

何をいくつ買ってもらえたか、わかりますか？

私が当日の会計番をしたけど、確か、ティーバッグの小サイズから
売れていきました。何個買ってもらったかは・・・
はっきり覚えていません。

Gさん

何かに書いたりしたものはありますか？

最後にまとめた売上記録はありますが、個別はないです。

そうですか。完売したのは良かったですが、終了間際は割引も
していましたね。正規の値段設定では、何個売れていたんでしょう？

どうだろうなぁ・・・半分以上は、半額設定にした途端に売れ出したね。

Ｆさん

今回の「儲け」はいくらですか？

え～っと、全部でいくら売れたんだっけ？

売って得たお金と、儲けはまた別ですよ。

え～っと・・・

それでは、今回の日当はいくらでしたか？

1000円でした。

Gさん

そうですね、日当は1000円でしたね。イベント出店にあたって
使ったお金を差し引いたらどうですか？　手元に残るのは・・・？

（少し考えて）昼食代を引いたら750円。

そうですね。同じように、売上からティーバッグやクッキー作りのために
使ったお金を引いていくと、いくらになりますか？

材料は全部事業からの支給があったので、お金は使っていません。

F さん

そうですね。今回、一体どれだけ手元に残ったでしょうか？

計算してみよう。
林さん、それぞれいくらかかったのか、教えてもらえるかい？

では、今からティーバッグとジャムの加工に、
何にどれだけお金がかかったか言っていきますね。

私がホワイトボードに書いていきましょう。

Gさん

回答：

解説

みらいさん

迷ったものもあるのですが、全問正解でした！　ただ、×としたものでも、
かわりにどういうやりとりをしたらいいんだろう、と思いました。

じゃあ、ひとつずつ見ていこうか。

村野さん

2　最初の確認

まずＱ２は、「何人（How many）」って聞いているから事実質問だよね。
ところで、この後の展開を考えてみようか。例えば、予定出席者は15人なのに
15分経っても５人以上集まらない、となったら、みらいさんならどうする？

・・・現地プロジェクト・マネージャーのブクさんに頼んで、
来ていない人の家に様子を見に行ってもらって、
忘れているようだったら声をかけて集会場まで来てもらう、とか？

それはＮＧＯスタッフの仕事ではないよ。
ブクさんがすることは、村長さんとか活動のリーダーに一言、
「研修参加者が来ていないので今日は帰ります」と伝えるだけでいい。

え〜、帰ってしまうのですか？！

本当に学ばなければならないことだったら、自分たちで声をかけ合って集まる
べきでしょう？　ＮＧＯスタッフが連れてきて研修をしたなら、村人にとっては
「言われたから参加した」という「お膳立てされた研修」になってしまうよ。

ううー・・・

Q 3　ミーティングに来ない理由

「忙しい」は“一般化した言い方”（人によって異なる感覚的な言い方）だね。
みらいさんなら、なんて聞く？

例えば・・・挨拶してから、「どこかお出かけでしたか？」と聞きますかね。

いいね。そうやって今日のこれまでの行動について詳しく聞き出す。
あとは、一緒に活動をしている村人の名前を出して
「最近〇〇さんと会ったことありますか？」とか、
他の村人たちとの関わりについて聞いていくといいよね。

そうすると、村人がミーティングに来ない、
あるいは来られない理由が見えてきそうですね。

忙しいとか大変とか「ちょっと感覚的な聞き方をしてしまったな」と思ったら、
昨日一日の行動や新しい日雇い仕事について詳しく聞いてみると、
他の村人たちとの関わりから、どれだけこの人が活動の現状を知っているか、
または知らないかが見えてくることもあるよ。

Q 4　アプリを使わなくなった理由

これは簡単でした。

「どうしてアプリを使っていないの？」と聞かなかったのがポイントだね。
「なぜ」を使わずに、アプリを使わなくなった経緯を聞く方法の一例だよ。
やってしまいがちなのが、店舗主任に「どうしてアプリが使われていないのか？」
と理由を聞くこと。他のケースに置き換えても同様で、使っている本人に
話を聞く、使っている現場を観察するのが肝心、ということだよ。

Q 5　給食委員会

「どうでしょうか？」と提案しているし、ダメな会話だなというのは
すぐにわかりましたけど、事業計画が前提にあると、
スケジュールに遅れが出ていたりしたら私もやってしまいそう・・・

そうなりがちだよね。
だけど、このＰＴＡ役員や教員、母親グループのメンバーたちが
現状を正確に把握せずに、トゥリさんが
「こうしよう、ああしよう」と率先してしまうと、
後でトラブルになった際に修正が難しくなってしまう。
ここは、「どうなっていますか？」のかわりに何を聞こうか？
メタファシリテーションの鉄則「時系列で聞く」を思い出して。

そうか、まずは先月の給食のことから聞けばいいのですね。
「先月の給食のメニューは、誰が作成しましたか？」
「それは、いつから作り始めて、いつ完成しましたか？」

そう！　月末のミーティングなら「今月の給食」として聞いてもいいよね。
そうやって、準備から実施、集金までの行動を、いつ、誰が、何をしたのか
細かく振り返ろう。そもそもメニューを作ってもメニュー表とか
「誰が見てもわかるもの」がなかったら・・・？
どうやって掃除スタッフに買い出しを頼んでいたんだろう・・・？
そうやって一つひとつのプロセスを振り返ることが大切だね。

Q 6　イベントの振り返りミーティング

これはお膳立てしてしまった収入向上事業のイベント振り返りですが、
事業の始め方がメタファシリテーションに基づいていないように感じました。

そう！　「そもそも」の話をすれば、
「グループ活動で定期的に発生する固定費や突然の出費など、
例えば去年１年間の毎月の出費」に対して
「グループ活動の収入がいくらだったのか」
「去年、不足分はどうしていたのか」
「他の活動でその不足分を賄うのか」
「それより何％以上を賄えるようにするのか」
等々の積み重ねがあって初めて、販売目標の設定や商品の選定もできるよね。

「お膳立てしてしまっている」ことを自覚した林さんが、せめて「収益と費用」について共有し、考える機会を持とうとしているように見えました。

売上だけ見て何にいくらかかったのかという話をしなかったら、
「売上－費用（コスト）」という計算をしないのと同じだよね。
「売上－費用（コスト）」が赤字なのか黒字なのかわからないままでは、
次の事業につながらないよね。

そうですよね。つい私も、売上＝事業の成果・・・と考えてしまうところでした。
「売上－コスト」は商売をしてたら当然のことなのに見落としていました。
ところで、ムラのミライは、お膳立ての活動をしたことはないんですか？

お膳立ての活動はないね。例えば、事業計画に書いてある稲作方法を村に紹介するという機会があったとしたら、ムラのミライならどうすると思う？

うーん・・・本人たちがまだ知らないことを、
やってみたいことにするには・・・？

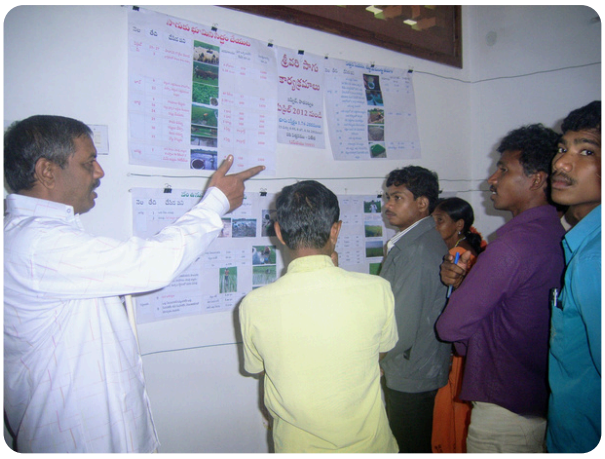
決まったやり方はないから、とても難しいよ。
まずは村の人たちが「知らないこと」を「知る、体験する」という機会を
提供することが、とても重要。だけど、ここでも村の人たちから
「この稲作方法を知りたい」「もっと教えて欲しい」という意見が出るまでは、
「こうしなさい、ああしなさい」とは言ってはダメ。

体験中に、失敗しそうになっても・・・

それでも、口出ししたりするのもダメ。 以前、実際にあったケースでは、
「実験」という形でムラのミライの田んぼで稲作を実施して、
村人たちがその作業にいつでも飛び入り参加できるようにオープンにしたよ。
田起こし・育苗から収穫・脱穀までの全作業と投入した費用・人員・日数、
田んぼの水深など、作業をする度にすべてを書き出し、
村人たちがいつでも見られるように研修室に張り出していたね。

なるほど、オープンな実験！　それでどうなったんですか？

村人たちがやりたいと言い出して、一株の収穫量や粒の大きさ・重さから
根っこの長さの計測など、何を比較するかも自分たちで決めてやったんだ。



わぁ・・・

5人ほど、その方法での田植えを熱心に体験してみたり、
現地職員から話を聞いたりしていた村人がいて、
その村人たちが翌年から自分の田んぼでその方法による稲作をしたんだ。
半信半疑だった他の村人たちも、わずかな苗から桁違いの収穫量を出したことで
確信を得て、その次の年からはほとんどの村人たちが同様の稲作をやったね。

すごいですね。実験に参加するかしないか、
自分の田んぼでもしてみるかどうか、すべてにおいて村人自身が決める・・・
当たり前のように聞こえますが、私はどうしても
「村人たちに教えてあげないといけない」という意識になってしまいます。
上から目線になっていないか反省ですね。

Column 3

何（WHAT）ですか？と聞いても事実を聞けない時

前川 香子
ムラのミライ　海外事業チーフ

20年近く前の、まだメタファシリテーションが体系化されていなかった頃のこと。南インドの農村地域の流域管理事業で、村人たちが集まるミーティングが行われることになりました。講師はまだ入職２年目のスタッフ。いつもならメタファシリテーションの生みの親の一人である和田信明やフィールド経験の長いインド人スタッフと一緒なのですが、この日はたまたま二人とも都合がつかず、一人でミーティングへ出かけることになりました。

前回のミーティングで村人が言い出した村の地図作りについて、その目的と地図に書き込む内容を確認するのが目的です。
研修会場に続々と集まる村人たち。初めて一人でミーティングに参加したので、このスタッフはとても緊張していました。ミーティングが始まってしばらくしてドキドキしながら「発言してもいいですか？」と許可を取り・・・

２年目スタッフ：村の地図作りをするということですが、それは何のための地図ですか？
（「なぜ？」とは聞けないことは心得ていたので、「何」と言い換えたつもり）
村人：村の発展のためです！（そして、何を描くかをツラツラと述べる）
２：なるほど、村の発展とは何ですか？
村：Rural Developmentです！
（これまでにいくつもの外国ＮＧＯとプログラムをしたので、簡単な英語は知っている）
２：Rural Developmentとは何ですか？
村：村の発展です・・・（苦笑い）

ミーティングに参加していた村人全員が苦笑いしました。

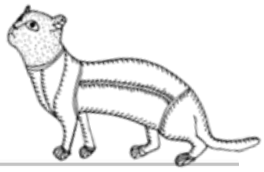
事実質問で使える疑問詞は「WHAT」ですが、「WHAT」を使ったからと言って、必ずしも事実質問になるわけではありません。このことを身をもって経験した２年目のスタッフ、それが私です。メタファシリテーションは理解するだけでなく、このような実践の積み重ねが大切ですね。

後日、インド人スタッフがこのミーティングをフォローしてくれました。その結果、村人自身が「現状把握と分析・計画作りのための」地図作りをしたい、と言いました。

「自分ならどうリカバリーするか？」を考えてみてください。
なお、2019年にこのエピソードをもとに、当時のムラのミライのインターン生が「どうするか」を考えてくれたブログ記事があります。
https://muranomirai.blogspot.com/2019/03/ngo2.html

そして、それに対して私からコメントを返すブログ記事もあります。この記事では、どのようにインド人スタッフがフォローしたのかにも触れています。
https://muranomirai.blogspot.com/2019/03/ngo3.html

Part２まとめ



- [x] 事実質問に使える疑問詞、使えない疑問詞は何でしたか？
  また、ＹＥＳ／ＮＯで答えられる事実質問は何でしたか？
- [x] 事業計画通りに進まない時、活動が滞っている時、「どうなっていますか？」と質問するのではなく、何を聞いていくべきでしょうか？

あなたの事業のチェックリスト

- [x] あなたが担当している（あるいは担当していた）事業で、住民からアイデアが出てきた際に「なぜ、そのアイデアがいいと思うのですか？」と聞いたことはありますか？
- [x] ある場合、事実質問を使ってどのように言い換えられるでしょうか？

03 現状認識・課題分析で誤らないために

ここまで問題に取り組んでみて、何か気づいたことはありますか？

- ☑ **無意識のうちに「支援する側」として善意の押し付けをしていたことに気づいた**
- ☑ **「いつも」や「みんな」「忙しい」など、一般化した言い方や感覚的な表現を事実と勘違いしていた**
- ☑ **話を聞くべき相手に話を聞いていなかった**

など、自分の癖や傾向が浮かび上がってきた方もいらっしゃるのではないでしょうか。
　ここまでは、事実質問かそうでないかを区別する練習をしましたが、Part３では、事実質問を組み立てる練習をしていきます。事例の後で、４つの設問があります。

scene　設立した委員会から村人が離脱

　植林プロジェクトの一環で、村人たちが総出で土壌流出を防ぐための石垣を設置しました。石垣は、山の等高線上に高さ50cmほどに石を積み上げることで、雨水と一緒に土壌が流れ落ちるのを防いでくれます。同時に、森林管理委員会も設立されて、委員会を中心に石垣のメンテナンスをすることになっています。

　石垣を設置してから約半年。農繁期やら大統領選やらで、なかなか村を訪れることができなかった林さんとブクさん。村の集会場で、村人で森林管理委員会代表のＩさんと会計担当のＪさんに話を聞いています。

character

林さん
海外事業部部長

ブクさん
現地プロジェクト・マネージャー

インタビュー

村の森林管理委員会

Ｉさん
森林管理委員会代表

Ｊさん
会計担当

以下のやりとりで、事実質問でない箇所に下線を引いてください。

林さん

山の土壌流出を防ぐための石垣に関して、
森林管理委員会の活動の進捗を教えてください。

それが困ったことに、村のすべての世帯が参加するはずが、
管理費が高いとか言って、自分の土地に石垣がない人たちは
抜けちゃったんだよ。どうにかしてくれないかな？

Ｉさん

へぇ、そんなことが。それは困りましたね。
どれくらいの家庭が抜けたのですか？

3分の１くらいです。だから委員会の管理費も、予定よりかなり少なくて・・・

Ｊさん

私たちが管理委員会設立のための研修を開催した時に、
みなさんも必要だと賛同して、委員会が正式にできましたよね。

ああ。管理費も、ブクさんが他の村の委員会の金額を最初の研修で
教えてくれて、あとでみんなで話し合って、それを基にして決めたんだ。

Ｉさん

みなさんで決めたのに、全世帯が加入していないのは問題ですね。

そうなんだよ。俺たちも説得しているけど、
もう一回、あなたたちからも、脱会した人たちに
ミーティングで説明してもらえないだろうか？

ブクさん

どうしましょうか、林さん？

そうですね、では、Ｉさんが他の委員会メンバーや脱会した人たちと
ミーティングの日時を調整して、ブクさんに知らせてくれますか？

わかった。

助かります。

Ｊさん

解説

みらいさん

「森林管理委員会の進捗を教えてください」っていう質問は、
「どうなっていますか？」と同じでＮＧですよね。
あとは、「みなさんも必要だと賛同して、
委員会が正式にできましたよね」の「みなさん」もＮＧワードです。
” Everybody” is “Nobody” ってやつですよね。

その通り！　ただ、単純に間違った質問を正しい事実質問に
置き換えるだけでは不十分だよ。

村野さん

どういうことですか？

例えば「森林管理委員会の進捗を教えてください」を
「森林管理委員会で最近ミーティングを持ったのはいつでしたか？」
に置き換えるとか、管理費についても
「管理費はいつ決めたのですか？その時の議事録はありますか？」
とかにするだけではダメだということ。

え～と・・・全部、過去の事実を聞いているのでよさそうなのですが、
ダメなんですか？

ダメなんだよね。単に過去の事実を聞けばいいわけではないよね。
村人たちが解決策を導き出せるようにしなきゃ。
ヒントを出すね。
「森林管理委員会から３分の１くらいが抜けた」のが
「問題」だと判断したのは誰かな？

村人じゃないでしょうか？
問題だと思ったから、林さんやブクさんに相談してきたんですよね。

村人って、誰のことだろう。
事例のなかで、最初に「問題」といったのは誰だった？

あ・・・林さんですね。

そう。林さんは研修で決まったことは従うべき、
と言っているけど、村人はどうかな？

Ｉさんは林さんに同調している感じがしますが・・・
私たちもスタッフミーティングで決まっていても、
やってみて軌道修正する、は普通なことのはずですもんね・・・

それに、この委員会についても、「決まったこと」に
全員が納得していたのかはわからないね。

確かに・・・ＮＧＯ側の「委員会を作った方がいい」という提案に、
村のリーダーが「ＮＧＯ（事業）にＮＯと言ったらもらえるものももらえなくなる」
という心理が働いて同意したかもしれないということですね・・・

そういう可能性はあるね。
では次にＮＧＯスタッフからも説得してほしいと
村人から頼まれた際には、何と返答したらいいかな？

え～っと・・・Part２のＱ２の解説に出てきましたね。
研修に集まらなかったら帰る、ということだったから・・・
「説得しません」ということですか？

そうだね。「それは私たちがするべきことではない」と伝えるんだよ。
林さんたちは、森林管理委員会のメンバーではないのだから、
林さんたちＮＧＯスタッフは委員会の運営に立ち入るべきではない。
全世帯が加入していなくて本当に困っているのであれば、
それを解決するのは誰？

委員会メンバーの村人ですね。
でも、「困っている」「どうにかしてほしい」と最初に言っているし、
「ミーティングで説明してほしい」と助けを求められて、
何もしないというのも溝ができそうです。

何もしないのではないよ。
メタファシリテーションが得意とするのは何だった？

「そうなった状況を当事者自身が分析するのを助ける」・・・？

そう。では、みらいさんだったらまずどんな問いかけをする？

そうですね、
「３分の１の世帯が委員会を脱退」という状況を
委員メンバー自身が分析するために、・・・
「直近で、脱会したメンバーはいますか？
それはいつでしたか？」と聞くかな～。

そうだね。そういうこと。「３分の１が抜けた」が、
一度にどっと抜けたのか、徐々に抜けていったのか、
最初に抜けたのはいつ、何世帯が、何と言って抜けたのか、
そもそも入会・脱会の手続きはどうなっているのか、
ということを聞いていくんだね。

入会手続きのことも聞くのですね、なるほど。もしかしたら
「入会していたことすら知らない」なんていう世帯もあるかもしれませんもんね。

そうだね。そうすると、林さんたちのこの一連のやりとりは、
村人たちがミーティングの日時を設定して村人たちに自主性があるように
見えるけど、実はＮＧＯが委員会を主導してしまっているんだね。

なるほど。単に正しい事実質問に置き換えるだけでは不十分、
とはこういうことなのですね。

「とっさの一言」を鍛える問題

次のQ１からQ３は穴埋め問題です。
問題をよく読み、これまでの解説を踏まえて、適切な答えを選んでください。

Q 1　水不足

scene　林さんが村を初めて訪れた際、集会場で村人の一人から言われました。

林さんの返答で、メタファシリテーションで使わないのは（A）～（D）のどれですか？

村人

水が不足しているから何とかしてもらえないだろうか。

林さん

［　　］水が不足していますか？

選択肢：（A）どれくらい　（B）ずっと　（C）どこで　（D）いつから

Q 2　研修フォローアップ調査

scene

ＮＧＯが過去に実施した女性を対象にした食品加工研修のフォローアップ調査のために、ブクさんが研修参加者であるＫさんの開業したカフェにやって来てインタビューをしました。

ブクさんからの質問で、メタファシリテーションで使うのは（A）から（D）のどれですか？

ブクさん

（カフェに入店して）こんにちは。

こんにちは。いらっしゃいませ。

Ｋさん

はじめまして。
先日お電話でインタビューのお願いをしていたブクと言います。
あなたが始めたカフェがなかなか好調だということを他の職員から聞いて、やってきました。お話を聞きたいのですが、30分ほどお時間いいですか？

はい。いいですよ。こちらにどうぞ。

（店内のテーブルについて）

（　　）？

選択肢：

（A）最近、よく売れているものは何ですか
（B）お忙しいところにおじゃましてすみません。
　　いつも何時頃から混み始めますか
（C）素敵なお店の名前ですね。あなたがご自身で考えて命名したのですか
（D）このメニューにあるスイーツで、研修で学んだことを反映したことは
　　何かありますか

Q 3　スラムでの教育支援

scene

ＮＧＯが、スラムの子どもたちの就学支援の一環として制服を支給しています。ある日、農村からスラムに越してきたばかりの家庭を訪ねた池田さんは、受益者候補の基本情報収集のために、調査票を見ながら６歳の女の子の母親にインタビューをしました。

池田さんの質問で、空欄になっている個所が２つあります。**メタファシリテーションでは使わない質問**はどれでしょうか。

池田さん

はじめまして。（自己紹介と少し雑談した後）別の農村地域から移ってきた人たちからもいろいろと大変な状況を聞いているのですが、娘さんのことで10分ほど、お話を伺ってもいいですか？

はい、いいですよ。

母親

前に暮らしていた村では、　①　？

①メタファシリテーションでは使わない質問をすべて選んでください。
（Ａ）きちんと学費を支払えていましたか
（Ｂ）制服や教材など、必要なものは全部揃えてあげられていましたか
（Ｃ）娘さんが学校に行くために、何か困ったことはありましたか
（Ｄ）小学校は遠かったですか

いいえ。

②　？

②メタファシリテーションでは使わない質問をすべて選んでください。
（Ｅ）娘さんを学校に通わせたいですか
（Ｆ）娘さんのいい教育のために、必要な支援を受けたいと思いますか
（Ｇ）ここに越してきてから、娘さんの学校のことで何か困ったことはありますか
（Ｈ）今娘さんが通っている学校は、娘さんは気に入っていますか

はい。

Q 4　水利組合

scene　池田さんが村の水利組合の集会に同席しています。村人が、水の利用料金徴収について報告しています。

２つの問いがあります。以下のやりとりを読んで、続く問１、問２に答えてください。

水の利用料ですが、先月の集金日に集金できたのが、全組合員の半分もなかったです。（池田さんに集金結果の資料を見せる）

Ｌさん

池田さん

それは大変ですね。これからどうするのですか？

また来週にでも、未払いの組合員の家に行って徴収します。

それでも徴収できなかったら？　徴収できるまで通うのですか？

がんばって集めます。

徴収できないと、確か、貯水池の水門を開けるための電気代が捻出できないのですよね？　電気代が払えないと、水門も開けられず困りますよね。
せっかく育っている稲の苗も枯れてしまう危険性がある。
その辺は、ちゃんと説明しているのですか？

はい。もう一度説明して、来週には必ず未払いの利用料金を徴収してきます！

私も、未払いの農家を見かけたら声をかけておきますから、がんばってきちんと集めましょう。

問１：組合役員が<u>今月の反省を踏まえて</u>、来月の集金時で100%集金するために するべき行動で、<u>メタファシリテーションに当てはまらないもの</u>を次の（A）～（C）の中からすべて選んでください。

（A）すべての組合員の家を訪問する
（B）組合が全額集金できないと困る点を、組合員に再度説明する
（C）NGOスタッフも参加して、どうすれば徴収できるか、全組合員と役員でミーティングをする

問２：今月の集金の振り返りをする際に、メタファシリテーションで使う質問に○、使わない質問に×をつけてください。

番号	質問	回答
1	集金しきれなかった理由は何ですか。	
2	先月の集金日はいつでしたか。	
3	いつ行くと、集金しやすそうですか。	
4	先月は誰が集金をしたのですか。	
5	各家庭に手紙を入れて、翌月の集会に持ってきてもらうのはどうですか。	
6	誰がどの家に集金に行くかは決まっていたのですか。	
7	組合員は規則を守らないことがよくあるのですか。	
8	組合の会員は何世帯ですか。	
9	組合員には集金日や集金額をどのように知らせましたか。	
10	未納の世帯について、いつ誰が集金をするか決めましたか。	
11	再集金日がいつか、未納の世帯に連絡しましたか。	

解説

Q 1　水不足

みらいさん

これは簡単でした！　ウォーミングアップですね。

メタファシリテーションを知らなければ、
「水が不足しているから何とかしてほしい」と
言われれば、当然のように「ずっと不足しているのですか？
それは困りましたね」と言ってしまうだろうね。

村野さん

Q 2　研修フォローアップ調査

私は（D）を選びましたが、違うのですね。
研修のフォローアップ調査という目的だし、
「研修で学んだことを反映したことは何かありますか？」というのも、
ＹＥＳ／ＮＯで答えられる明確な質問だと思いました。

質問文だけで判断すると、そうかもしれないね。
だけど、ブクさんとＫさんは初対面だよね。
「研修は全然つまらなかった」とか本音を言える関係ではなさそうでしょう。
研修をしてくれたＮＧＯのスタッフに、インタビューの冒頭からダイレクトに
「研修で学んだことを反映したことは何かありますか？」
と聞かれて、本音を話せるかな？

う〜ん、ちょっと“圧”を感じてしまうかもしれません。自分で考えてやったことの
方が多い場合でも、教えてもらったことがすごく役立ったと話を盛るかも。

そう。このような質問をすると、Ｋさんは少なからずブクさんの期待に
応えようと考える。研修で学んだことについて聞きたければ、
研修というワードをブクさんが出してはダメ。

研修が本当に役立つ内容だったなら、
Ｋさんから話してくれる、ということですね。

コラム４にも、支援内容が役立ったか
本音を聞くコツについて説明があるから、それも読んでみてね。

3　スラムでの教育支援

①も②も、「すべて適切ではない」が正解なんですね。

ふふ、ひっかけ問題だよね。（A）から（D）の質問の背景にはすべて、
「そういうことだろう」という思い込みがあるからなんだよね。
今まで見聞きした「村での大変な学校生活」というものに、
引っ張られてしまっている。

池田さんの調査票そのものが、他の村の状況をベースに
作られてしまっているかもしれないですね。

そうだね。調査票を作る時も「他の農村地域ではこうだったから、
この村でもこうだっただろう」という憶測は捨てて、ていねいに
「娘さんの制服は、買いましたか？」「いつでしたか？」
「補助金など購入にあたり支援はありましたか？」というように、
一つひとつ事実を確認する形にしないと、正確な状況はわからないだろうね。

4　水利組合

メタファシリテーションに当てはまらないものは
（A）と（C）だと思いましたが、（B）も当てはまらないのですね・・・

問１に、「今月の反省を踏まえて」とあるよね。
池田さんと村人Ｌさんとの会話から、今月の反省点がクリアになっているかな？

そう言われてみれば・・・最初は、何のために徴収しているのかをきちんと
説明していないのかな、と思いましたが、もう一度よく読むと、
池田さんの「徴収できない場合のリスク」の話に、
単純にＬさんが「説明します」と言ってるだけですね。

そうだね。それを踏まえて、問２はどうだったかな？

いちおう、全部合っていました。
でも、こんなふうに文字でそれぞれの質問を読んで、事実を聞いているか
そうでないかと問われればわかるけど、会話の中ではすぐに事実質問が
出てこなかったり、事実質問ではない質問を言ってしまいそうです。

実践あるのみだよ。池田さんと村人のやりとりのように、考えや仮定にばかり
基づいた集金の話をしてしまうと、いわゆる「空中戦」になることに注意だね。

あ、だから集金する側の手順として、いつ、誰が、
どこに行ったのか、という「地上戦」が大事になるんですね？

うん。でも、今回のケースでは、「集金する側と集金される側の情報共有が
どのようにされていたのか」を明らかにすることが一番重要なんだよね。

なるほど・・・！　それこそが「集金できていない」という
困った状況を分析する手助けになるんですね。

そう。現場ですぐにこの見立てをした上で、
「地上戦」アプローチをしていくこと。慣れてきたら、勘所がわかってくるよ。

集金の改善点を浮き彫りにするためのやりとりの一例として、
先ほどの選択肢を使って組み立てたものを紹介するので、参考にしてみてね。

メタファシリテーションを使ったやりとりの例

水の利用料ですが、先月の集金日に集金できたのが、
全組合員の半分もなかったです。
（池田さんに集金結果の資料を見せる）

Lさん

池田さん

そうなんですね。先月の集金日はいつだったのですか？

20日と21日です。

誰が集金に行ったのですか？

私、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんです。

おつかれさまでした。
その時、誰がどの家に集金に行くかは決まっていたのですか？

いいえ。決まっていなくて、5人全員で一緒に1軒ずつ回りました。

そうなんですね。組合の会員は、何世帯でしたっけ？

合計100世帯です。

組合員には、集金日や金額について、どのように知らせたのですか？

お知らせを書いたものを各世帯に配ったり、
ミーティングで確認したりとかはしていないですが、
これまでも集金はしてきたので、
だいたいの組合員は知っていると思います。
あと、一度だけ村のスピーカーで、徴収することを15日頃に
放送しました。聞いていたかどうかはわかりませんけど・・・

なるほど。集金できたのが半分以下だということでしたが、
正確には何世帯から集金できたのですか？

42世帯です。記録はあります。

いいですね。ちなみに未納の58世帯について、
誰が、いつ、どの家を集金するのか決めましたか？

とりあえず今は畑作業で忙しいから来週の木曜日と金曜日にしよう、
とは５人で話しています。分担は・・・話し合ってないなぁ。

そうなんですね。
ちなみに58世帯の組合員たちには、次の集金日を知らせましたか？

いいえ。・・・知らせる必要がありますね。

Column 4

支援した事業が役立ったかどうかを聞きたい時は

和田 信明
ムラのミライ　インハウスコンサルタント

南インドのタミル・ナードゥ州で、スマトラ沖地震の津波災害の復興支援をしていた時（2005年）の話だ。夕方近くだったと思う。ある団体が建てた仮設住宅がある方へ歩いて行くと、反対方向を目指す漁村の村人たちと行き合った。彼らが目指すのは、明らかに海岸の方だ。で、立ち話。

和田：「これから仕事かね」
漁師：「いいや、寝に帰るところさ」
和：「え、だって仮設住宅があるところは、こっち（と私たちが向かう方向を指差して）だろう？」
漁：「あ、あそこは昼寝をするところさ」
和：「夜は、“あそこ”では寝ないの？」
漁：「おれたちはな、漁師だ。漁師はいつ仕事するか、知ってるか」
和：「えっ！？」
漁：「おれたちはな、朝も暗いうちから起きて、夜が明けないうちに船を出すんだ」
（その漁師は、お前はこんなことも知らないのか、という表情で私を見る。）
和：「（しどろもどろになりながら）確かにそうだ」
漁：「で、こんなに浜辺から離れた場所にある“あそこ”で寝て、夜明け前の漁に間に合うと思うか」
和：「間に合わないよな」
漁：「だからよ。夜は浜辺で寝るんだ」
和：「仮設住宅は浜辺に建ててほしい、とリクエストはしなかったのか？」
漁：「言わなかったさ。ＮＧＯが説明に来た時、安全な場所に仮設住宅を建てるって言ってさ。
　　まあ、こっちが金出すわけじゃないし、特に反対はしなかったさ」
和：「で、昼寝しに行っているわけか」
漁師「そのくらい、使ってやらないと悪いじゃないか」

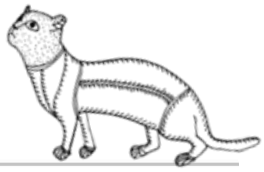
この仮設住宅は、名前を聞けば誰しも知っているような大きな国際ＮＧＯが建てたものだった。「安全な場所」という理屈の中には、国道に近くて作業しやすい、という理由もあったらしい。この漁師たちの生活圏を訪れずに、「仮設住宅は役立っていますか？」と聞けば、優しい彼らは、きっと「役立っています」と言うに決まっている。そして「仮設住宅」が実際にはどんな使われ方をしているか、わからないまま終わってしまっただろう。

もう一つ、南インドのある山奥の村であった傑作な例。
村の入り口に、ある国際ＮＧＯのロゴと共に「公衆トイレ」とペイントされた小さな建物があった。だが、どうも使われている様子はない。で、近くを通りかかった村のおじさんに聞く。

「あの、村の入り口にあった、なんかコンクリートで作ってあるもの。あれはなんだ？」
「え、そんなものがあったか？」と村のおじさん・・・
一緒にコンクリートの中を見に行くと、その季節には使われていない誰かの農具やセメント袋が乱雑に積まれていた。誰から見ても間違いなく「物置」だ。

教訓。事業で作ったものが役に立ったかどうか検証したかったら、決して「〇〇は役に立ちましたか？」「〇〇は使っていますか？」と聞いてはいけない。

Part３まとめ



☑ 支援期間中に作られた住民組織の代表から「メンバーが次々と脱会して困っている」と相談を受けたら、まず聞いてみることは何ですか。

☑ 「研修で学んだことを実践していますか？」の質問で、研修の内容を活用しているかわかるでしょうか？

あなたの事業のチェックリスト

☑ あなたが担当している（あるいは担当していた）事業で、「〇〇で困っている」と住民（受益者）から相談されたことはありますか？

☑ ある場合、事実質問を使って聞く側（あなた）と答える側の両方が「困っている状況」が明らかになる聞き方を考えてみましょう。

04 「住民による自主的な活動」を実現するには

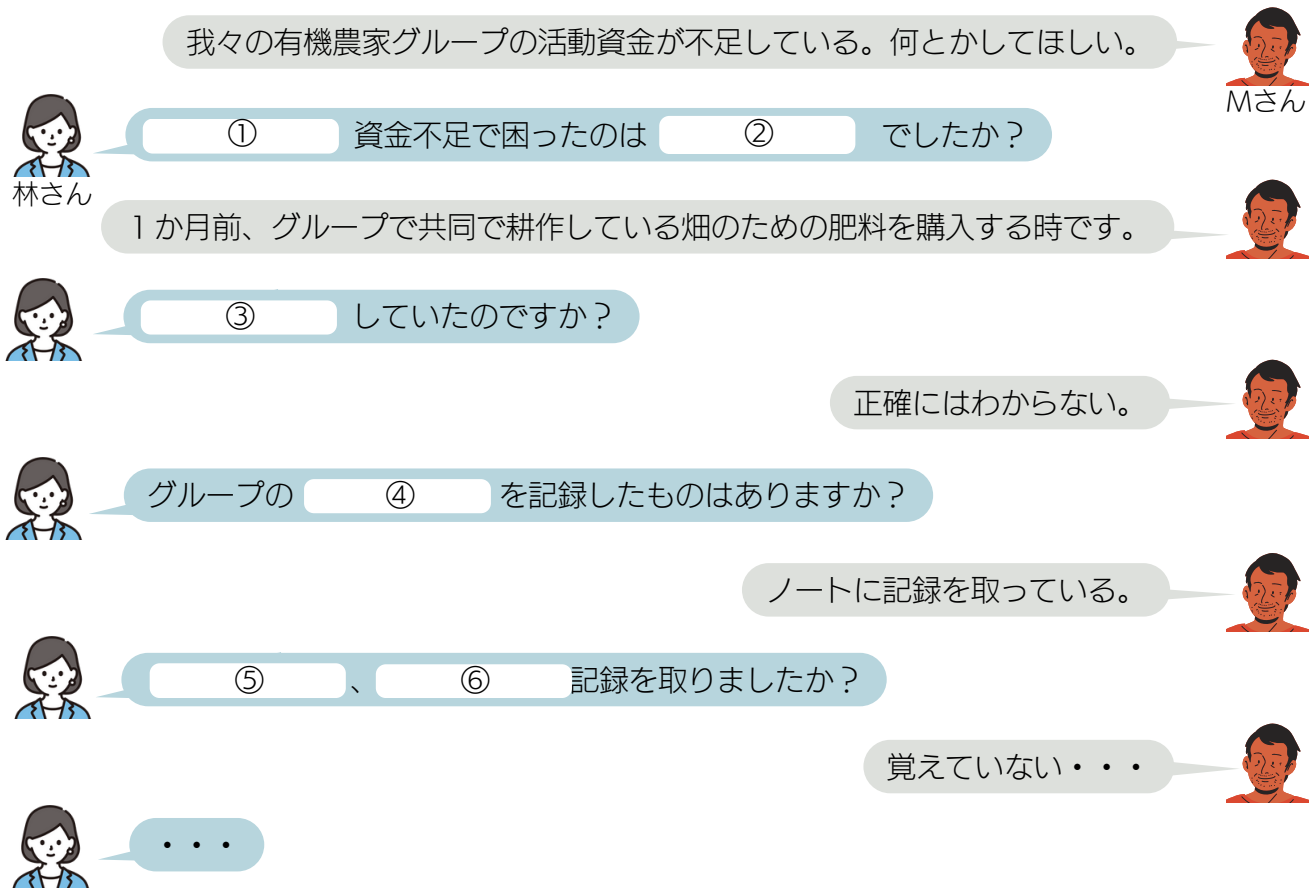
肝となるワードをさっと出すための穴埋め問題

ここまでで、単純に「事実質問に使える疑問詞」を使うだけではメタファシリテーションはできないことがわかってきたと思います。Part 3では、提示された質問が事実質問かどうかを見極め、さらにそれをメタファシリテーションを使って組み立ててみましたが、Part 4では、事実質問を作ってみましょう。全部で3つの設問があり、各設問の中の会話が穴埋め問題となっています。設問ごとに、解答と解説があります。

Q 1 資金不足

scene 林さんがある農村を訪れた時、村人で有機農家グループの代表Mさんに出くわし、勢いよく「助けてほしい」と言われたので、Mさんから詳しく話を聞いてみます。

次のMさんと林さんのやりとりを読み、①から⑥の空欄に入る言葉を考えて記入してください。



Q 2　遠隔での事業管理：本部事務所から現場の進捗を確認する

scene

本部事務所のスタッフと現地職員は、定期的にオンラインミーティングを開いています。ある農村の小規模水力発電事業における進捗状況について、池田さんがトゥリさんから聞いています。

次のやりとりを読み、①から⑨の空欄に入る言葉を考えて記入してください。

前回のミーティングで、水力発電委員会の委員長が自分たちで発電機小屋建設のコンクリート用資材を集めてくると言いましたが、２週間経っても、委員長はまだ何もしていないと言っています。

トゥリさん

池田さん

前回のミーティングに参加したのは、委員会の　①　でしたか？

委員長と副委員長です。
あとの5人の委員たちは、農作業や急用で忙しいと言って来ませんでした。

（内心、たった２人と驚きつつ）その日の議題は何でしたか？

今後の建設作業についてです。

　②　、誰が、　③　話しましたか？

私から、どうやって工事を進めるかを聞いてみました。
そうしたら委員長が「委員会メンバー全員に言って、今週中にコンクリート用の砂を川底から取ってくる」と言ったのです。
コンクリート材料が揃ったら、３日くらいで基礎の部分ができるだろうと。

その時の　④　はありますか？

はい、私がコピーを持っています。

　⑤　書かれていますか？

さっき言った、村人たちが川底からコンクリート用の砂を集めてくる、ということです。

委員長が、［　⑥　］、
村人の［　⑦　］、［　⑧　］ように言うのか書いてありますか？
コンクリート用の砂は、［　⑨　］必要なのか、書いてありますか？

え～っと、そのように細かくは話し合っていなかったです。
・・・そうですね、次回のミーティングの時に、委員長や委員会メンバーに、砂を集める工程を細かく聞いて確認してみます。

Q 3　養鶏ビジネス

scene

事業の一環でひな鳥を10羽提供し、将来的には卵や鶏肉として販売して収入を増やしていく養鶏ビジネスを、ある村で10人と実施しています。ひな鳥を配布してから１か月が経ち、ひなたちの様子を見に一人ずつ訪問した林さんは、農家Nさんからいろいろと「おねだり」をされてしまいます。
しかも、ひなを配る前に約束した「自分たちでやること」も「NGOが支援してくれること」と勘違いしている様子です。

村人Nさんと林さんとのやりとりを読み、適切な言葉を空欄に入れてください。

林さん

ひなを配る前に、私たちと約束したことがありますよね？

あったような気がします。

Nさん

どんな約束ごとか、［　①　］

自分でひなの世話をする、小屋が壊れたら修理できるところは自分で修理して、無理なところはスタッフに言う、とかでしたでしょうか・・・

［　②　］を、あなたは持っていますか？

リーダーのＹさんが持っています。

そうですか。あなたが、［　③　］それを［　④　］？

ひな鳥をもらう前、世話の仕方などの研修に参加した時ですが、読み上げてもらったのを聞いただけです。

解説

1　資金不足

みらいさん

林さんは、まずは直近のことを聞いていますね。

そうだね。課題分析をする時の、「事実質問の組み立ての手順」に沿った方法で、直近で資金が不足した状態になったのがいつだったのかを明確にしてから、その時のことを聞き込んでいっているね。

村野さん

このやりとりから、グループが単に資金不足に陥っているだけでなく、資金管理の問題を抱えているかもしれない可能性が見えてきました！

これが、メタファシリテーションに当てはまる課題分析のやり方の一例だよ。

2　遠隔での事業管理：本部事務所から現場の進捗を確認する

池田さんが指摘したことですが、私もメタファシリテーションについて知らなければ、「細かく聞いておいて」とか「きちんと確認しておいて」とざっくりとお願いをしてしまいそうです。

「細かく」「きちんと」という言葉が、何をどうすることなのか具体的にはわからないね。

池田さんのトゥリさんへの伝え方も、なるほどなと思いました。
「〇と●と◆を聞いておいてください」と細かくお願いするのもいいけど、「〇と●について聞いたことはありますか？」と質問すると、
「そういえば聞いておかないといけないな」と
現地職員の気づきを促すことにもなりますね！

Q 3　養鶏ビジネス

②の「約束ごとが書かれているもの」がわからなかったです。

計画書とかＮＧＯとひな鳥の提供を受ける人との間の覚書とか、
そういうもの。これはとても重要だよ。

住民との活動において、その活動内容に関して書かれたものですね。
誰が、何を、いつ、どれだけするのか、いくらかかるのか、
あと誰が負担するのか・担当者（窓口）は誰か、ということですね。

そう。それを住民自身が持っていなければ、「住民参加型」とか
「自主的な活動」とは全く言えないよ。自分で考えて動くにしても、
ＮＧＯとＮさんの間で共通のベースになるものがないからね。

養鶏ビジネスだけじゃなくて、貯水池整備事業でも、
食品加工事業でも、何でもそうですね。

スタッフが「知ってるはず」「言ったことがある」と言うだけでは、
活動を行っていく上での住民との必要な共通認識はないと言わざるを得ない。
あともう一点、その書類に関して重要なポイントがあるんだけど、わかる？

うーん？　控えを取っておくとか？

それも大事だけど、その書かれたものが、
どの言語で書かれているのか、ということだよ。

あ！　住民が使う言語ではなく例えば英語とか、その国の公用語とか、
住民が読めない言語で書かれていれば意味がないですね。

活動の細部を確認する時の「拠り所」となるのも、
こうした「書かれたもの」だよ。それに、
さっき挙げてくれた誰が、何を、いつ、いくら・・・というような
情報共有をしないまま活動をするならば、
それは対等な関係に基づいているとは言えないよ。
対等な関係がないままの活動は、住民参加ではなく
住民を動員しているのに過ぎないからね。

なるほど・・・。

Column 5

新人駐在員が感じた事実質問の威力

實方 博章
ムラのミライ　海外事業コーディネーター（2014年当時）

「この地域で１年に何回米を収穫できるか知ってる？」

農村への移動中、プロジェクトマネージャーの前川から投げかけられたシンプルな質問。

「１回じゃないんですか？」
「この時期（２月初旬）、田んぼによって何か違いがある？」

辺りには12月に収穫を終えた田んぼが広がっています。村に到着するまでこれらの田んぼをじっくりと見渡すと、私が今まで田んぼのことを全く気にしていなかったことがわかってきました。
見えてくるのは、苗床がある田んぼと、ない田んぼ。
そして、苗床がある田んぼの近くには水があることにも気づきます。水を確保できさえすれば、通常この地域では年に２回の稲作が行われるのです。

この質問が私にとって重要なのは、「１年に何回稲作が行われるか？」という問いへの答えそのものではなく、私が今まで、いかに「観察」を疎かにしていたかという点です。すでにこの地域の事業に７か月も担当して通い続けているのに、私はこの答えを知りませんでした。

この質問を投げかけられたのが赴任１か月目だったら、これは単純に知識を伝えるだけの質問だったかもしれません。私が正しい答えを知っていたら、この質問から多くのことは伝わって来なかったかもしれません。この質問を都市部の事務所で聞かれていたら、「そういえば知らなかったなぁ」で終わりだったかもしれません。

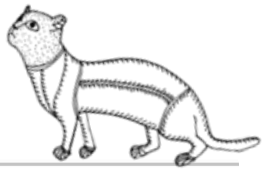
しかし、一面に広がる田んぼを目の前にして聞かれたこの問いに答えられなかったことで、私が今まで全く「観察」をしていなかったことに気づかされたのです。

※編集注

2011年から2015年までの流域管理事業で、アシスタント・プロジェクトマネージャーとして携わってくれた實方さんのブログ記事（2014年４月１日掲載）を一部抜粋し編集して掲載しました。当時、村人たちに稲作に関する研修をしていた時期で、村に着くまでの道中で得られる情報がたくさんある中、現地語習得のための教科書を車中でも読んでいた實方さんに「周りを見てる？観察してる？」と前川が直接言いたくなかった時の会話です。

出典：https://muranomirai.blogspot.com/2014/04/blog-post.html

Part４まとめ



☑ 「資金不足に陥っている」と住民から言われた時、
何と聞いて確かめますか？

☑ 「言った」「言わない」など、NGO側と住民側との間で活動の
進め方について齟齬が起きた時に、拠り所となるものは何ですか？

あなたの事業のチェックリスト

☑ あなたが担当している（あるいは担当していた）事業で、活動の内容
（誰が、いつ、何をする、かかる費用、財源、等々）を文書化したものは
ありますか（ありましたか）？

☑ ある（あった）場合、同じものを住民も持っていますか（持っていました
か）？
それは何語で書かれていますか（書かれていましたか）？

05 基本の復習

ここでは、メタファシリテーションの基本をまとめています。
主にメタファシリテーションステップ１からステップ３の講座で使用したパワーポイント資料等を編集して掲載しています。メタファシリテーションの復習に役立ててください。

事実質問の基本型

疑問詞を使う質問

1 「何」WHAT
- 何ですか
- 何をしましたか
- 何でできていますか
- 何と言いましたか

2 「誰」WHO
- 誰ですか
- 誰から聞いたのですか
- 誰に話したのですか
- 誰と行ったのですか
- 誰が知っていますか
- （その問題で）誰が困りましたか／困っていますか

3 「いつ（何時・何日）」WHEN
⇒時系列で課題の推移を追う
- それはいつでしたか
- 最初はいつでしたか
- 最後（直近）はいつでしたか

4 「どこ」WHERE
- どこで起こりましたか
- どこから得ましたか
- どこで知ったのですか

5 「いくつ・いくら」HOW many／ HOW much
- 何人でしたか／何人ですか
- いくら（値段）でしたか／いくらですか
- いくつありましたか／ありますか
- いくら（何個、何円、何人、どれだけ）足りないのですか

YES／NOで答える質問

経験	○○○したことがありますか 例：誰かに指摘されたことがありますか
過去の行為	○○○しましたか 例：その問題を解決するために何かしましたか
存在	ありますか／ありましたか 例：他の選択肢はありましたか
所有	持っていますか
知識	知っていますか
記憶	覚えていますか

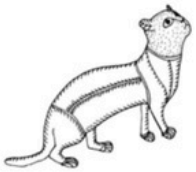
講義資料スライド抜粋

メタファシリテーション®
3つのルール

1 事実のみ質問する

2 自己肯定感に配慮する

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ



「これだけは！」という3つです。
どれが欠けてもメタファシリテーション®にはなりません。

1 事実のみ質問する

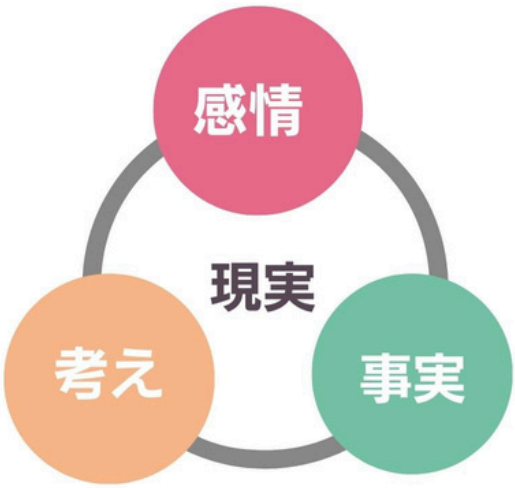
事実質問とは

1 朝ごはんは
何が好きですか？ — 感情

2 朝ごはんはいつも
何を食べますか？ — 考え

3 今朝は何を食べましたか？ — 事実

現実を構成する３つの要素



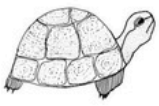
事実とは？

誰にとっても同じになること、
誰でも確かめられること

1 過去に起こったこと
過去形

2 いつ、どこ、誰、何を
特定する疑問詞で聞ける
時間・場所・当事者・事柄

3 目の前で起こっていること
現在進行形



事実を聞けない質問とは？

人によって捉え方が異なるもの

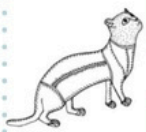
1 なぜ（Why?）
理由

2 どう(How?)
感情／状況・・・

3 一般化した言い方や感覚的な表現
ひとくくりにする

いつも… みんな… よく… 男性は…
一般的に… 毎日… だいたい…

「なぜ？」質問がダメな理由



どうして遅れたの？ → 道が混んでたんだよ…

どうしてやらなかったの？ → 急用ができたから…

「なぜ？」と聞かれると、つい言い訳してしまう

▶ ものごとの原因を自分の都合のいいように解釈して、相手に話させてしまう

「どう？」質問がダメな理由

どうだった？ → 別に、ふつう。

体の調子はいかがですか？ → 薬を飲み忘れやすくて…
認知症ですかね…

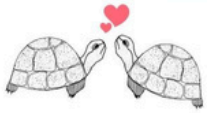
感想？
考え？
状況？

「どう？」と聞かれると、
何を答えたらいいかわからない

- いい加減すぎて、会話が続かない😑
- 答え手に忖度や判断をさせてしまう😑

「空中戦」と「地上戦」

質問の種類	対話	結果
NG質問 なぜ（Why?） どう(How?) 一般化した質問	「空中戦」	・抽象的 ・観念的 ・実りのない対話
事実質問 何（What?） いつ（When?） 誰（Who?） どこ（Where?） どれだけ（How much?）	「地上戦」	・現実的 ・具体的 ・実りのある対話



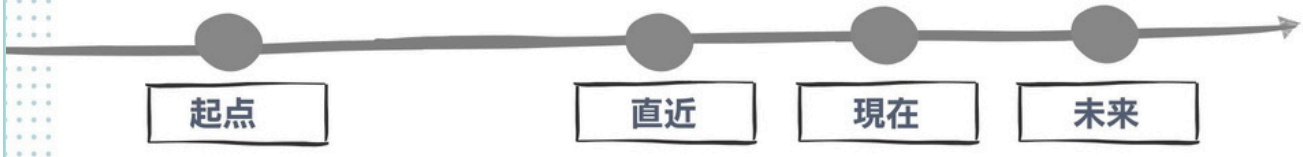
事実質問を作る時のポイント

1 時系列を意識する

2 細分化する

事実質問で時系列に沿って聞いてゆくと・・・

変遷・ターニングポイントが浮かび上がる



起点 | 直近 | 現在 | 未来

最初にそれが起こったのはいつ？
どこで？
誰と？

直近でそれが起こったのはいつ？
どこで？
誰と？

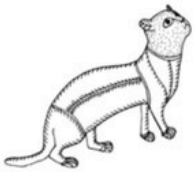
時系列で細分化する利点

答え手も聞き手も状況が
はっきり見えてきて、
課題が発見できたり、
分析しやすくなったりする

1 相手が思い出しやすい
考えなくていいので答えやすい

2 聞き手と答え手が
共通の認識を持てる
「こういうことかな？」と推測する必要がない

3 ターニングポイントが
浮かび上がる
話しているうちに答え手自身が気づくことも



メタファシリテーション®とは、相手の話を聞き、
相手自らが課題を分析することを促す手法です。

「時間軸」と「空間の広がり」を意識しながら質問する

起点 / 直近 / 現在 / 未来

最初にそれが
起こったのは**いつ**？

直近でそれが
起こったのは**いつ**？

「ほかに」質問
ほかに、似たようなことはあった？
（⇒その時はどう対処した？）

「どこ・誰」質問
どこで手に入れたの？
誰に聞いたの？

「誰か」質問
身近な人で誰か似たようなことはあった？
（⇒その人はどう対処したか、知ってる？）
誰かほかの人に話した？

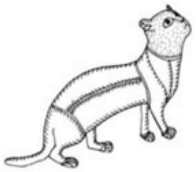
1 事実のみ質問する

課題分析の事実質問の組み立ての手順

1
時系列で聞く
付随する単純な
事実質問

2
空間を広げる質問
どこから？　誰から？
ほかに何か？
誰かほかに？
どこか別の場所で？
いくつ？　いくら？

3
時系列で聞く
付随する単純な
事実質問



1で行き詰まったら、
2、3と展開していきましょう！

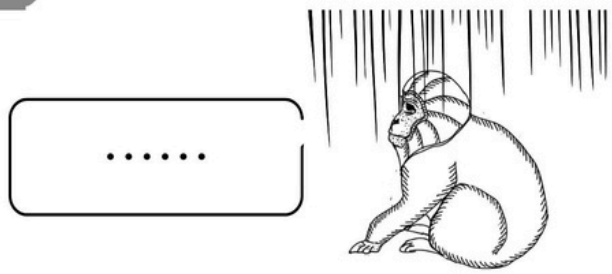
2 自己肯定感に配慮する

自己肯定感が下がっている時は・・・

本当のことが言えない…

否定的な考え・感情になる…

抱えている課題の
解決には
つながらない



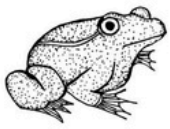
自己肯定感が上がっている時は・・・

自分のことを話しても
認めてもらえる気がする

視野が広がり、
課題に積極的に向き合える

自分には課題を
解決する力があると
信じることができる

相手と信頼関係を築く上での基本的な聞き方



1 **傾聴の姿勢を見せる**
うなずき、相手の方を向く、
相手の言ったことを繰り返すなど

2 **相手を否定しない**
「でも」「しかし」などの逆説の言葉や相手と
逆のこと・意見を言わない、発言を遮らないなど

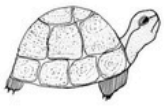
3 **話し方のペースを合わせる**
声の調子、速度、大きさを相手に合わせる

4 **行動や仕草などをまねる**
「同じタイミングで飲みものを飲む」など
自然な範囲で相手の身振りなどをまねる

2 自己肯定感に配慮する

自己肯定感に配慮する際のポイント

相手が嫌がっていたり、
答えにくそうにしたら止める



1 **じっくり相手を観察する**
相手の表情、声のトーン、目線、服装、持ちものなど

2 **相手が答えやすそうな事実質問からスタートする**
（目の前を指さして）「それは何ですか？」など心理的にハードルの低い質問からスタートする

3 **相手の答えをもとに次の事実質問をする**
用意してきた質問ではなく、相手の答えに応じて質問する

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

「○○なことは、○○」の法則

1 聞いたことは、忘れる
2 見たことは、覚える
3 やったことは、わかる（身につく）

儒学者『荀子』（儒効篇）の言葉

4 発見したことは、使う

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

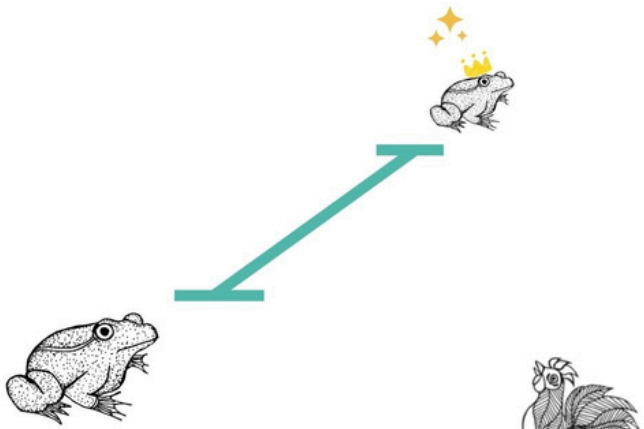
相手の課題は相手が解決する

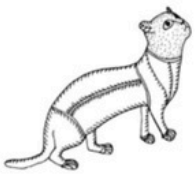
その力を信じて言語化のサポートをする

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

課題とは

「理想の姿」と
「現実の姿」との距離





相手の理想と現実が事実に基づいているかな？
クリアになるように質問していこう！

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

現実を明らかにする質問とは

悩みが相手から出てきたら、
まず「時系列で聞く」

1 「それが起きたのは直近でいつですか？」

（続けて、相手の答えに応じて質問する）
どこで？／何を？／誰に（誰から、誰と）？・・・

2 「それが最初に起こったのはいつですか？」

（続けて、相手の答えに応じて質問する）
どこで？／何を？／誰に（誰から、誰と）？・・・

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

例：「スマホをだらだら見るのをやめたら？」のかわりに

起点 | 直近 | 現在 | 未来

最初にスマホを持ったのはいつ？

直近でスマホを見たのはいつ？

「ほかに」質問
- スマホのほかに何かをやめられなくなったことはありますか？
- その時はどう対処しましたか？

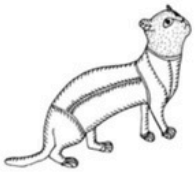
「どこ・誰」質問
- その時はどこでスマホを見ていましたか？
- 誰かと一緒でしたか？

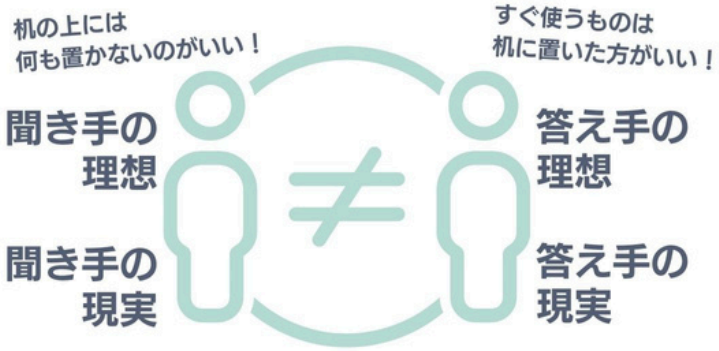
「誰か」質問
- 誰か身近な人で同じ悩みを持っている人はいる？（⇒その人はどう対処したか、知ってる？）
- 誰かほかの人に話した？

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

課題解決を促す事実質問をする時の注意点

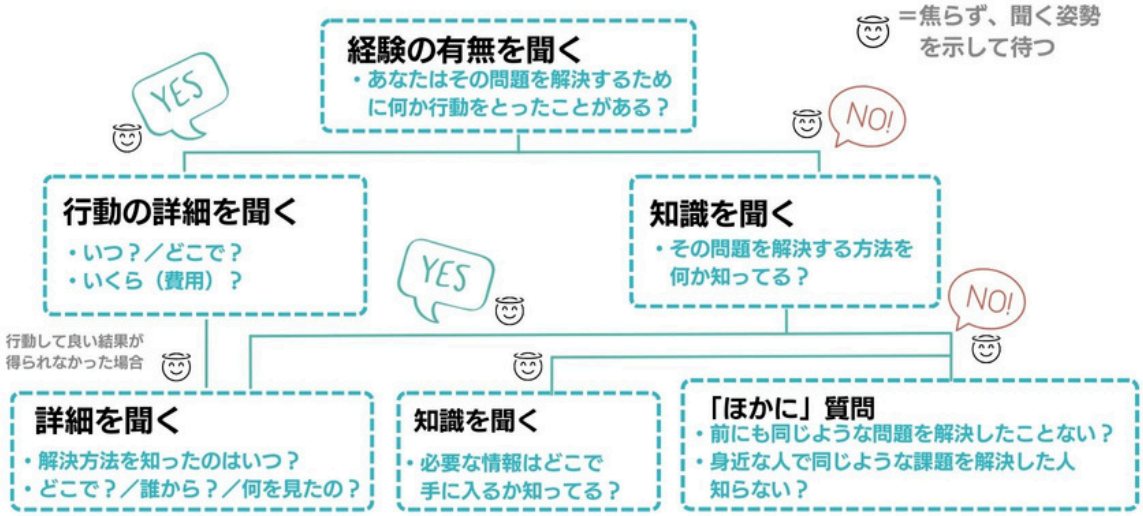
〇〇してほしいという思いは一度脇に置き、まずは相手の話を聞く





3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

例：「〇〇ができなくて困っている」と相談されたら・・・



3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

例：「〇〇が足りない」と言われたら・・・

=焦らず、聞く姿勢を示して待つ

詳細を聞く
・どのくらい〇〇があればいいのか知っていますか？

YES

NO!

根拠の詳細を聞く
・いつ知った？／何で知った？（情報源、計算方法、測定方法）

経緯の詳細を聞く
・不足を知ったのはいつ？
・何で知った？（情報源）

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

例：「やります」「やるつもり」と言われたら・・・

アクションプランを聞く

=焦らず、聞く姿勢を示して待つ

期間を聞く
例：いつ始めるか決めましたか？

YES

NO!

詳細を聞く*
・それはいつですか？
・いつまでの予定ですか？

「知っていますか？」質問
・期限はありますか？
・期限を知っていますか？

YES

NO!

詳細を聞く*
・何をしますか？／誰がしますか？／どこでしますか？
いくら（金額）かかりますか？　など

「計画」とは行動の前に行う「決定」です。
※の詳細は次のページをご覧ください。

3 提案、アドバイスはせず、相手が気がつくまで待つ

※アクションプランに必要な要素

What（何）？	行動、対象となるもの
Who（誰）？	責任者
When（いつ）？	スケジュール
Where（どこ）？	場所
How much（どれくらい）？	予算
How many（どれくらい）？	資源、求めるもの、対象となるもの
For What（何のため）？	目的、目標

Column 6

住民「参加」の中身

原 康子
ムラのミライ　事業統括

「住民参加型養鶏を通じた収入向上事業」を実施するあるＮＧＯスタッフと、卵を使ったマフィンを販売している店に出かけ、自己紹介の後、組合員Ｏさん（養鶏と卵の加工製品製造販売をする住民による組合）に話を聞かせてもらった時のことです。

原：「この部屋、明るくてとても感じがいいですね」
Ｏ：「ありがとうございます。この部屋の壁の色、私が選んだのですよ」
原：「黄と白で明るくて、卵のイメージがいいですね。壁の色以外でＡさんが選んだり、決めたりしたことはありますか？」
Ｏ：「特にないですね」
原：「そうでしたか。ところで私が来る前、お客さんは来ましたか？」
Ｏ：「はい、さっき一人来ましたよ」
原：「マフィンを買ってお客さんが店を出た後、Ａさんは何かしましたか？」
Ｏ：「日付と売れた金額をノートに書きました」
原：「すぐ書くと忘れなくていいですね。ちょっとノートを見せてもらっていいですか？（１か月に数回、個数と金額が記載されている）これ以外に、収入や支出がわかるノートはありますか？」
Ｏ：「これ以外はないです」
原：「あなた以外に組合の記録など事務をする人はいますか？」
Ｏ：「いいえ、そういうことは、全部ＮＧＯの人がやってくれますから」
原：「なるほど、では、お店が儲かっているかどうかを知りたい時は、ＮＧＯの人に聞けばいいのですね。最後にそのことを聞いたのはいつでした？」
Ｏ：「去年の総会ですかね。マフィン販売は儲かっていなし、卵の数も十分でないと言われました。最近、私もただ働きなので、もう組合をやめようと思っているのです」
原：「ただ働きでは大変ですね。そのことを組合の誰かに話しましたか？」
Ｏ：「まだ言っていません。最近、組合で集まるのは外国からお客さんが来た時くらいです」

このやりとりの後、ＮＧＯの事務所で、事業開始から３年間でスタッフ・組合員それぞれがやったことを書き出してもらいました。組合員の欄には「養鶏設備建設の支援を受けた」「養鶏研修を３回受けた」など、「受けた」が続き、「決めた」と書かれた箇所は、店の１部屋の壁の色だけでした。

書き出した後、「組合員の欄、ほとんど受け身形ですね」とスタッフの一人がつぶやきました。住民は「ＮＧＯが決めたこと」に「参加（動員）させられていた」事実が、浮かび上がったのです。

その後、大急ぎで、ＮＧＯは帳簿や収支計算方法を組合代表ら数人に教えました。組合員がスタッフに教えてもらいながら店の収支予測を計算してみたところ、４月（事業終了月の翌月）には資金繰りができなくなり倒産、ということがわかりました。
「住民参加の中身」について考えさせられる印象的なできごとでした。

おわりに

村野さん

さて、たくさんの事例を見たり、問題を解いたりしてきたけど、
これで問題集もおしまいです。おつかれさま！

みらいさん

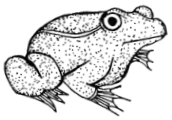
ふ〜、難しかったです。何度も間違えてしまいました。
「住民が主役になる活動」がどういうことかよくわかっていないことに
気づかされました。住民が主役の活動とは、
住民が考えて住民が決める、ということですが、
どこかで「これは彼らにはできないだろう」という無意識のバイアス、
パターナリズムが働いていたと実感できました。

そうそう。「彼らにはできない」と決めつけてしまう時点で、
「対等な関係」ではないということだよね。
住民と計画を立てる時、実行する時、モニタリングする時、
それぞれの場面で、「これは対等な関係と言えるだろうか」と
立ち止まる必要性に気づけたかな？

はい！　・・・実践の前に、もう一回問題集をやってみようっと。

うんうん、現場で面白い話を聞けたら、教えてね。

この問題集に関して、理解をより深める方法をいくつかご紹介します。



オンラインサロンへの参加

参加者の事例検討や質疑応答、ロールプレイなど、認定トレーナーと共にメタファシリテーション技術の実践練習をします。

https://muranomirai.org/courses-and-consulting/salon_metafaci/

ステップ１～３の再受講

リピーター割（50%オフ）をご利用いただけます。もう一度、基本を学び直したい時にはぜひ受講してみてください。

https://muranomirai.org/courses-and-consulting/meta-facilitation-courses/

この問題集に特化した講座への参加

問題集の内容を扱った講座を、2024年夏以降に開催予定です。2.5時間×2回（前半・後半）。詳細は決まり次第ムラのミライHPに掲載します。

https://muranomirai.org/

コーチングのご利用

ご自身の団体の活動をベースにした講座の組立てや、事業の案件形成から実施、モニタリング、評価といった一連のプロセスにおいて、個別相談や研修などを提供します。

https://muranomirai.org/courses-and-consulting/dispatches/

メタファシリテーション検定の受験

メタファシリテーションの技術の習熟度を確認できます。３級から１級まであり、１級に合格するとメタファシリテーション認定トレーナーを目指す養成研修を受講できます。

https://muranomirai.org/courses-and-consulting/meta-facilitation-certificate/

認定メタファシリテーショントレーナー養成研修

研修を修了し、実技試験に合格すると、メタファシリテーションをご自身で教えることができる「認定メタファシリテーショントレーナー」の資格を得られます。

https://muranomirai.org/courses-and-consulting/tot/

メタファシリテーションに関する書物一覧

＼じっくり理論を知りたいとき／

『途上国の人々との話し方
―国際協力メタファシリテーションの手法』

和田信明、中田豊一（2010）
みずのわ出版

Amazonで詳細を見る

＼日常での実践例を知りたいとき／

『対話型ファシリテーションの手ほどき』

中田豊一（2015）
ムラのミライ

Amazonで詳細を見る

＼支援の現場で使った実例を知りたいとき／

『南国港町おばちゃん信金：「支援」って何?
“おまけ組”共生コミュニティの創り方』

原康子（2014）
新評論

Amazonで詳細を見る

解答一覧

01 自分にも相手にも潜む「思い込み」を意識する

Q 1．林さんやトゥリさんの、「事実を聞いていない質問」に下線
2．村人の「思い込み（考え）に基づいた回答」に波線

02 「持続可能性」を阻む質問とは

Q 1 短文クイズ

答えが×（事実質問ではない）の文章については、参考までに、該当箇所に赤線を引いています。

番号	質問	回答
1	（村人が抱えているカゴの中身を指さして）これは何ですか？	○
2	（現地のスタッフに対して）事業対象の村で堆肥を作っている村人を知っていますか？	○
3	（村の女性グループに対して）食料品を買っているお店はどこですか？	×
4	（有機農業グループの一員に対して）直近のミーティングの議題を覚えていますか？	○
5	（支援していた養鶏事業でヒヨコがイタチに食べられたという村人に対して）ヒヨコを守る対策を取っていなかった理由は何ですか？	×
6	（調査で対面したスラム住民に対して）収入は十分ありますか？	×
7	（村の集会で）この料理はとても美味しいですね。誰が作ったのですか？	○
8	（登校してきた子どもに対して）朝ご飯ちゃんと食べてきた？	×
9	（治療中の村人に対して）前回受診した時にお医者さんからもらった薬は、あとどれくらい残っていますか？	○
10	（女性グループのリーダーに対して）どうしたら女性の活動への参加率が高くなりますか？	×
11	（農家に対して）その種は、どこで手に入れたのですか？	○
12	（支援候補先の学校の訪問時に、視察したクラス担任に対して）あなたの授業は、とても明るい声で聞きやすいですね。トレーニングを受けたことがあるのですか？	○
13	（村長に対して）この集落で、あなたが最も不便に感じることは何ですか？	×
14	（生産者グループメンバーに対して）グループの中で役割分担していますか？	×
15	（村人に対して）最近、この集落で稲の害虫被害の調査をしたのはいつでしたか？	○
16	（特産品ブースの担当者に対して）他に出店先の候補はありましたか？	○
17	（スラムの一角で井戸端会議している女性たちに対して）みなさんは、いつもゴミをどう処理されていますか？	×

「食料品」が一般化した言い方＆現在形になっている

「何だと思いますか？」という「考えを聞く質問」になっている

考えを聞く質問
＆
役割＝人によって考えが異なる

18	（村人に対して）去年、あなたの田んぼでどれくらいのお米が収穫できましたか？	○
19	（スラムの女性に対して）お子さんの通っている学校は、家から近いですか？	×
20	（支援候補地の視察で、大小さまざまなカゴを作って売っている女性グループに対して）資金や設備がきちんとあれば、どんな活動がしたいですか？	×
21	（着ているスーツの話を嬉しそうにしている現地事務所のスタッフに対して）そのお洋服、素敵ですね。あなたご自身で選んだのですか？	○
22	（畜産農家グループの集会で）グループの活動資金は、どれだけあればいいですか？	×
23	（初めて訪れた村で食事を振舞ってくれた村人に対して）あなたの村ではみなさん何を食べていますか？	×
24	（子どもが腹痛に苦しんでいるという母親に対して）娘さんからお腹が痛いと最初に聞いたのはいつでしたか？	○
25	（子ども支援をしている現地のＮＧＯの代表に対して）子どもの教育に意識の低い親に関心をもってもらうためには、どうしたらいいと思いますか？	×

考えを聞く質問

Q 2 最初の確認

林さん：研修の開始時間の5分前ですが、今のところ何人来ていますか？

（部屋の中をのぞいてきて）5人です。 ブクさん

回答：○

Q 3 ミーティングに来ない理由

ブクさん：最近、ミーティングに来ないですね？　お忙しいですか？

はい。いろいろとお金が必要になったので、日雇い仕事を増やしたのです。 村人

回答：×

Q 4　アプリを使わなくなった理由

ブクさん

ところであなたは、アプリの使い方を習ったことはありますか？

はい。先月の店舗ミーティングで教えてもらいました。

商品管理者

誰からでしたか？

その時の担当者だったＡさんです。

Ａさんは、今は担当者ではないのですか？

はい、先月末に辞めました。
なので、操作がわからなくなっても教えてもらうことができないのです。

回答：○

Q 5　給食委員会

トゥリさん

今日は、給食のメニュー設定、材料の調達、給食費の集金と管理について振り返りをします。今、これらのことはどうなっていますか？

え〜っと、メニューは先生たちが決めて、
それに基づいて材料も調達してもらって、
集金は、生徒が家から持ってきたのを担任に渡すんじゃなかったかな？

ＰＴＡ役員

そうですね。学校の掃除スタッフがマーケットまで買い出しに行っています。
集金に関して言えば、生徒が持ってきたり持って来なかったり、持ってきても
金額が違ったりで、こちらとしては業務が増えて困っています。
母親グループから、各家庭にきちんと言って、
正確な金額を持ってくるように指導してほしいです。

教師

はい、すみません。私たちも、毎月のグループミーティングで
トゥリさんからメンバーたちに、給食費の集金がきちんとされないと給食が
食べられなくなることをしょっちゅう言ってもらっているのですが・・・

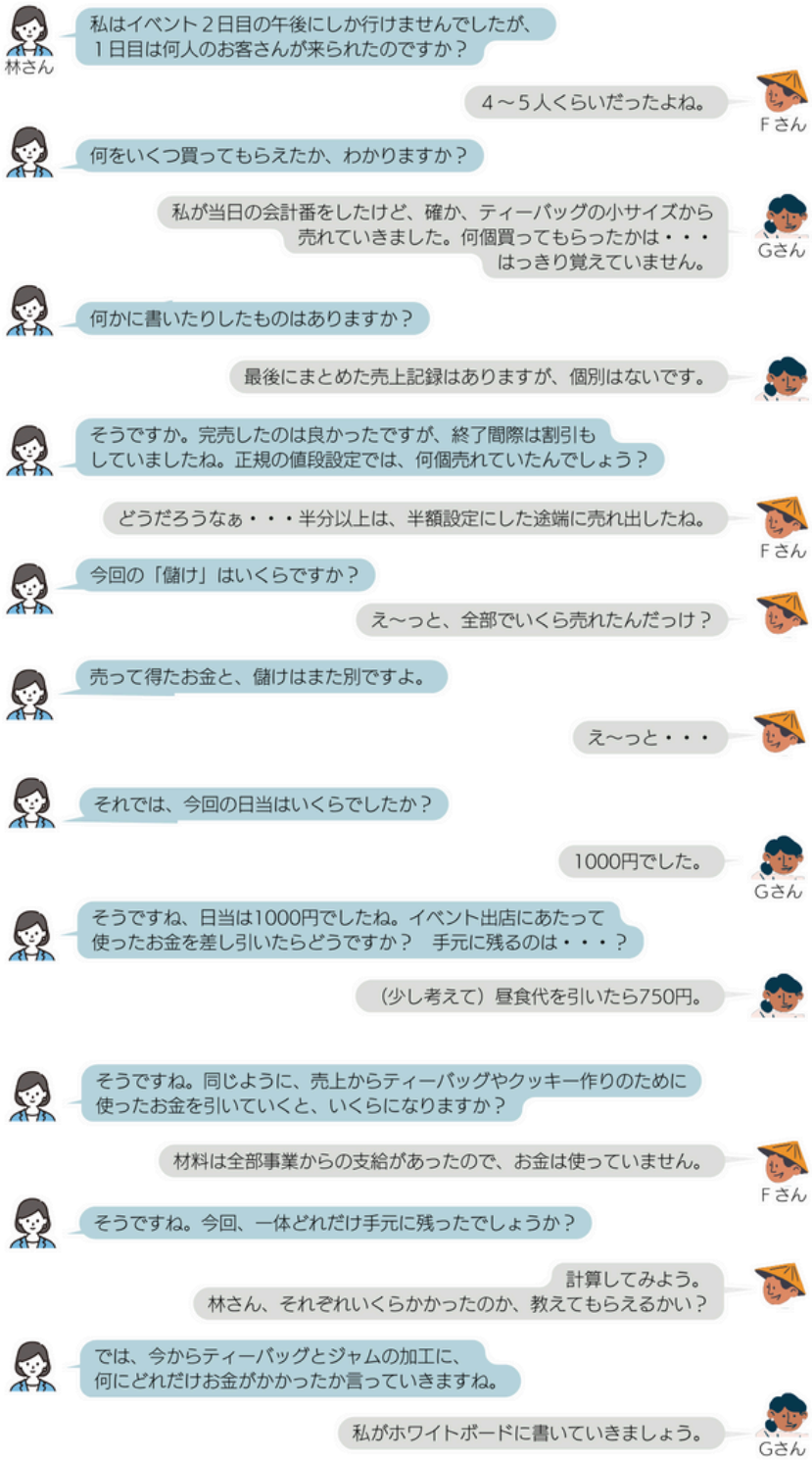
母親

（それぞれが、困っていることを出し合った）

みなさん本業や家のことが忙しくて、今の体制ではなかなかタスクを
こなすのが難しいですよね。そこで、給食委員会のメンバーを募って、
その人たちが中心となって給食のメニュー設定・材料の調達・給食費の
集金と管理を進めるという体制を作ってみてはどうでしょうか？
隣町では１年前から始めていて、うまくいっていると聞いています。

回答：×

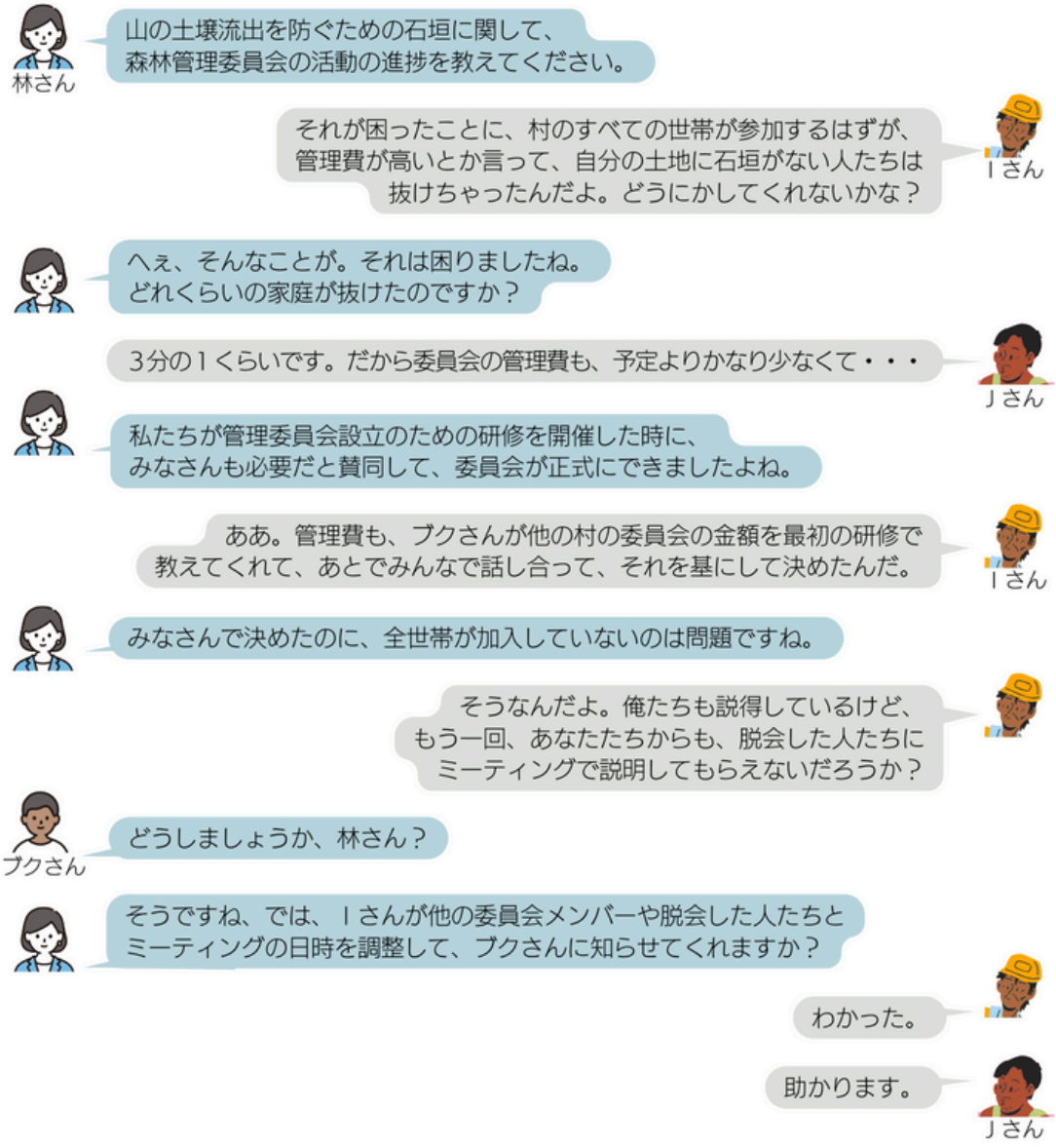
Q 6　イベントの振り返りミーティング



回答：○

03 現状認識・課題分析で誤らないために

Q 事実質問でない箇所に下線



Q 1 水不足

林さんの返答で、メタファシリテーションで使わないのはA～Dのどれですか？

選択肢：(A) どれくらい (B) ずっと (C) どこで (D) いつから

2　研修フォローアップ調査

ブクさんからの質問で、メタファシリテーションで使うのは（A）から（D）のどれですか？

選択肢：
（A）最近、よく売れているものは何ですか
（B）お忙しいところにおじゃましてすみません。
　　いつも何時頃から混み始めますか
（C）すてきなお店の名前ですね。
　　あなたがご自身で考えて命名したのですか
（D）このメニューにあるスイーツで、研修で学んだことを反映した
　　ことは何かありますか

（A）の「よく」、（B）の「いつも」が一般化された言葉なので×。（D）は相手に忖度して答えてしまうので×

3　スラムでの教育支援

池田さんの質問で、空欄になっている個所が２つあります。
メタファシリテーションでは使わない質問はどれでしょうか。

①選択肢：
（A）きちんと学費を支払えていましたか
（B）制服や教材など、必要なものは全部揃えてあげられていましたか
（C）娘さんが学校に行くために、何か困ったことはありましたか
（D）小学校は遠かったですか

②選択肢：
（E）娘さんを学校に通わせたいですか
（F）娘さんのいい教育のために、必要な支援を受けたいと思いますか
（G）ここに越してきてから、娘さんの学校のことで何か困ったことは
　　ありますか
（H）今娘さんが通っている学校は、娘さんは気に入っていますか

4　水利組合

問１：組合役員が今月の反省を踏まえて、来月の集金時で100%集金するためにするべき行動で、メタファシリテーションに当てはまらないものを次の（A）～（C）の中からすべて選んでください。

（A）すべての組合員の家を訪問する
（B）組合が全額集金できないと困る点を、組合員に再度説明する
（C）NGOスタッフも参加して、どうすれば徴収できるか、全組合員と役員でミーティングをする

問２：今月の集金の振り返りをする際に、メタファシリテーションで使う質問に○、使わない質問に×をつけてください。

答えが×（メタファシリテーションで使わない）の文章については、参考までに、該当箇所に赤線を引いています。

番号	質問	回答
1	集金しきれなかった理由は何ですか。	×
2	先月の集金日はいつでしたか。	○
3	いつ行くと、集金しやすそうですか。	×
4	先月は誰が集金をしたのですか。	○
5	各家庭に手紙を入れて、翌月の集会に持ってきてもらうのはどうですか。	×
6	誰がどの家に集金に行くかは決まっていたのですか。	○
7	組合員は規則を守らないことがよくあるのですか。	×
8	組合の会員は何世帯ですか。	○
9	組合員には集金日や集金額をどのように知らせましたか。	○
10	未納の世帯について、いつ誰が集金をするか決めましたか。	○
11	再集金日がいつか、未納の世帯に連絡しましたか。	○

04 「住民による自主的な活動」を実現するには

Q 1 資金不足

我々の有機農家グループの活動資金が不足している。何とかしてほしい。

Mさん

林さん

① **直近で** 資金不足で困ったのは ② **いつ** でしたか？

1か月前、グループで共同で耕作している畑のための肥料を購入する時です。

③**いくら不足**していたのですか？

正確にはわからない。

グループの④**収支／お金の流れ**を記録したものはありますか？

ノートに記録を取っている。

⑤**直近で**、⑥**いつ**記録を取りましたか？

覚えていない・・・

・・・

Q 2　遠隔での事業管理：本部事務所から現場の進捗を確認する

トゥリさん：前回のミーティングで、水力発電委員会の委員長が自分たちで発電機小屋建設のコンクリート用資材を集めてくると言いましたが、2週間経っても、委員長はまだ何もしていないと言っています。

池田さん：前回のミーティングに参加したのは、委員会の **①誰** でしたか？

委員長と副委員長です。

（内心、たった2人と驚きつつ）その日の議題は何でしたか？

今後の建設作業についてです。

②最初に 、誰が、 **③何を** 話しましたか？

私から、どうやって工事を進めるかを聞いてみました。
そうしたら、委員長が、『委員会メンバー全員に言って、今週中にコンクリート用の砂を川底から取ってくる』と言ったのです。
コンクリート材料が揃ったら、3日くらいで基礎の部分ができるだろうと。

その時の **④議事録** はありますか？

はい、私がコピーを持っています。

⑤何が 書かれていますか？

さっき言った、村人たちが川底からコンクリート用の砂を集めてくる、ということです。

委員長が、 **⑥何月何日（いつ）** から **何月何日（いつ）まで**
村人の **⑦誰に** 、 **⑧何をする** ように言うのか書いてありますか？
コンクリート用の砂は、 **⑨何キロ（どれくらい）** 必要なのか、書いてありますか？

え〜っと、そのように細かくは話し合っていなかったです。
・・・そうですね、次回のミーティングの時に、委員長や委員会メンバーに、砂を集める工程を細かく聞いて確認してみます。

Q 3　養鶏ビジネス

林さん

ひなを配る前に、私たちと約束したことがありますよね？

あったような気がします。

Nさん

どんな約束ごとか、**①覚えていますか**

自分でひなの世話をする、小屋が壊れたら修理できるところは
自分で修理して、無理な所はスタッフに言う、とかでしたでしょうか・・・

②その約束事が書かれているもの を、あなたは持っていますか？

リーダーのOさんが持っています。

そうですか。あなたが、**③直近で** それを **④見たのはいつですか** ？

ひな鳥をもらう前、世話の仕方などの研修に参加した時ですが、
読み上げてもらったのを聞いただけです。

この問題集は、日本国際協力財団の「国際協力ＮＰＯ助成 成長型事業」の助成を受けて作成されました。

2019年度から続いた同助成事業によって、ムラのミライの伴走支援の技術や教材を向上・改善させることができたと考えています。
改めて、ここに秋山進理事長、伊藤奈保子氏を始め、財団の関係者のみなさま方に御礼申し上げます。

また、同事業においてムラのミライの各種研修やコーチングにご参加くださった国際協力ＮＧＯのみなさま、コーチングの際の記録ボランティアのみなさまにも、感謝申し上げます。

この問題集が、読者のみなさまがメタファシリテーションを身につけ、実践する一助になりますように。
問題集に対するご意見やご要望も、ぜひお寄せください。

ご意見・ご要望：https://forms.gle/ChacQFqE7PcNuBeFA

住民が主役になる対話の法則

国際協力フィールドワーカーのための問題集

発行日：　2024年３月31日　初版発行
発行者：　ムラのミライ
発行所：　〒662-0856
兵庫県西宮市城ケ堀町２-22
早川総合ビル３F
TEL：050-3096-6399
expert@muranomirai.org
https://muranomirai.org/

校正：　伊藤可奈恵
写真：　ムラのミライ
Aiko KATO
イラスト：　久保田絢
Aiko KATO
ソコスト
Canva
編集協力：　マーキテクト／マキノスミヨ
https://m-architect.net/

※本書を無断で複写・複製・転載することを禁じます。
©Muranomirai